

全銀 EDI システム (ZEDI) 接続のためのガイダンス

一括ファイル伝送 (FB) 編



2020 年 4 月 1 日
一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク
株式会社 NTT データ

目次

1. はじめに	3
1.1 全銀 EDI システムのねらい	3
1.2 本ガイドの目的	5
2. 全銀 EDI システムの概要	6
2.1 全銀 EDI システムの特徴	6
2.1.1 全銀 EDI システムの利用イメージ	6
2.1.2 金融 EDI 情報ご利用可能サービス種別および利用可能チャネル	6
2.1.3 ご利用いただく際のご利用企業様側対応概要	7
3. ご利用開始方法について（一括ファイル伝送）	9
3.1 企業様の準備事項について	9
3.2 全銀 EDI システムへの主な接続方法	10
3.3 企業様側システムの主な対応方法	11
3.3.1 通信・業務	12
3.4 ネットワーク対応方法	13
3.4.1 全銀 EDI システムとの接続方法について	13
3.4.2 クライアント証明書による接続認証について	13
3.5 金融機関への申込み	13
3.5.1 個別金融機関を利用する場合	13
3.5.2 当初から複数金融機関を利用する場合	15
4. ご利用のためのご相談事項	17
4.1 金融機関へのご相談	17
4.1.1 全銀 EDI システム対応サービスの提供状況について	17
4.1.2 利用申込み手続について	17
4.1.3 法人 IB における全銀 EDI システムの利用方法について	17
4.1.4 全銀ファイル伝送（VALUX）における全銀 EDI システムの利用について ...	17
4.2 IT ベンダへのご相談	17
4.2.1 全銀 EDI システム対応 FB ソフトの導入について	17
4.2.2 通信パッケージソフトの導入について	17
4.2.3 ERP、会計ソフトの全銀 EDI 対応について	17
4.3 社内関係部門との調整	17
4.4 お取引先とのご相談	17
5. 用語の解説	18
6. ご照会先	20

6.1 全銀 EDI システムに係る問合せ先.....	20
6.2 Connecure に係る問合せ先	20
参考 1. 自社開発を行う場合の対応概要.....	21
1.1 貴社ご利用環境の準備	21
1.2 接続イメージ	22
参考 2. S-ZEDI のご利用方法について	24
2.1 機能概要	24
2.2 利用イメージ	24
2.3 利用方法	25
2.4 S-ZEDI の金融 EDI 情報について	29
2.5 セキュリティについて	29
参考 3. Connecure について	30
3.1 Connecure サービスの概要	30
3.2 Connecure の特徴	30
3.3 回線メニューについて	30
3.4 料金体系	31
3.5 初期費用（一時費用）	31
3.6 月額費用	31
3.7 Connecure に係る問合せ先	32
参考 4. XML 形式適用業務およびレコード・フォーマットについて	33
4.1 XML 形式適用業務およびレコード・フォーマットについて	33
4.1.1 企業から本システムへ送信するレコード・フォーマット	34
4.1.2 企業が本システムから受信するレコード・フォーマット	466

1. はじめに

この度は、全銀 EDI システム（愛称 ZEDI）（以下、「本システム」という。）のご利用をご検討くださり、まことにありがとうございます。

本書「全銀 EDI システム（ZEDI）接続のためのガイドンス」では、本システムのご利用方法およびご留意事項などをご案内いたします。

なお、ご検討の中で、ご不明なことなどがございましたら、取引先金融機関にお問合せください。

1.1 全銀 EDI システムのねらい

一般社団法人全国銀行協会（以下、「全銀協」という。）および一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク（以下、「全銀ネット」という。）は、企業様の決済事務の効率化、生産性の向上に向けて、企業間の銀行送金電文に取引明細情報や、請求書情報、担当者連絡先等の情報（以下、「金融 EDI 情報」という。）を電子的に交換可能とするため、新たなプラットフォームとして『全銀 EDI システム』を構築いたしました。

本システムは、売掛金、リベート等の自動消込等による企業様の決済事務の効率化、生産性向上を目指し、将来的には金融機関による新たな決済サービスの提供、イノベーションの推進をサポートすることを目的としています。

本システムをご利用いただくにあたってのポイントを図 1.1-1、期待効果について図 1.1-2 に示します。

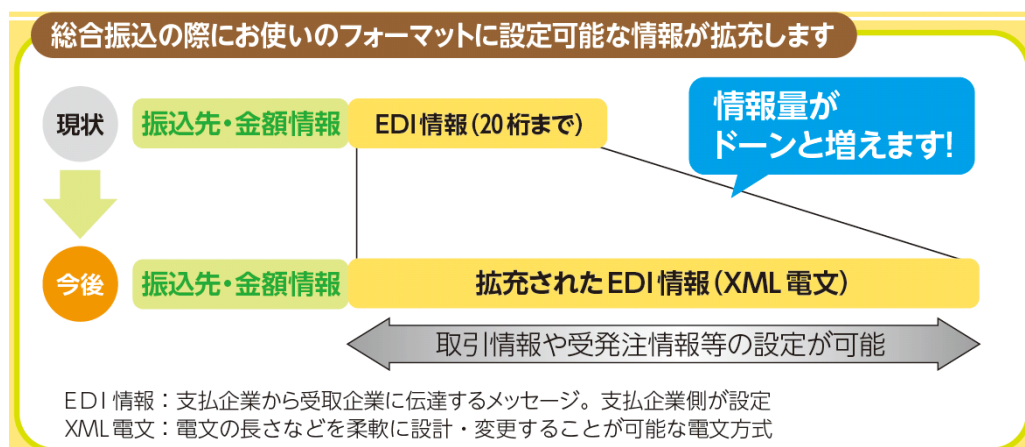


図 1.1-1 本システムご利用のポイント

情報の拡充により、経理関係事務を効率化



図 1.1-2 本システムご利用による期待効果



売掛債権の消込作業の自動化による生産性向上事例

流通業界および自動車部品業界における実証実験では、受取企業様側において年間約 400 時間(中堅製造業)から約 9,000 時間(大手小売業)の決済関連事務の合理化効果が確認されています。

① 流通業界における共同実証

<http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/info/info07.html>

【出所】流通 BMS 協議会

② 「金融 EDI 連携」実証実験

https://www.boj.or.jp/announcements/release_2015/data/rel150227a3.pdf

【出所】ITを活用した金融の高度化に関するワークショップ(日本銀行)

③ 中小企業庁における実証実験

<http://www.keieiken.co.jp/h29chushokigyo/index.html>

【出所】株式会社 NTT データ経営研究所 中小企業・小規模事業者決済情報
管理支援事業事務局

1.2 本ガイドスの目的

本ガイドスは、一括ファイル伝送（ご利用の EB／FB ソフトや基幹ホスト等からの接続）において、本システムに接続するための準備事項および流れを理解いただくことを目的としております。

2. 全銀 EDI システムの概要

2.1 全銀 EDI システムの特徴

2.1.1 全銀 EDI システムの利用イメージ

本システムを介した、商流情報と振込情報の連携イメージを図 2.1-1 に示します。

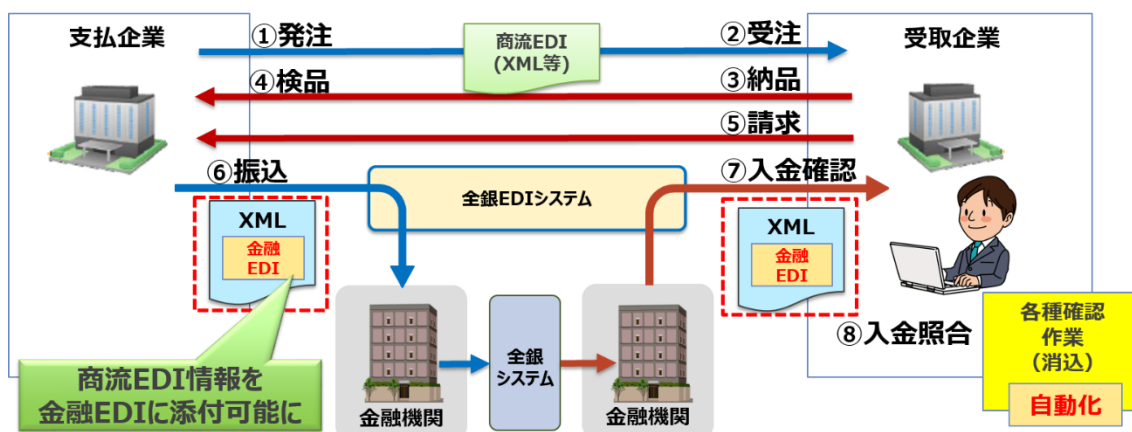


図 2.1-1 商流情報と振込情報の連携イメージ

2.1.2 金融 EDI 情報ご利用可能サービス種別および利用可能チャネル

本システムの利用可能サービス種別（適用業務）および利用可能チャネルを表 2.1-1 に示します。

表 2.1-1 金融 EDI 情報の利用可能サービス種別とチャネル

区分	適用業務 ※1	対象チャネル
連絡	総合振込	・一括ファイル伝送
照会	振込入金通知	（ファームバンキング（FB））※2
	入出金明細照会	・法人インターネットバンキング（IB） ・全銀ファイル伝送（VALUX）※3

※1 給与振込・賞与振込・口座振替（結果照会含む）等は適用業務の対象外となります。

※2 通信パッケージや FB ソフト等を利用してファイルを伝送するサービス。

※3 専用ソフトを用いてインターネット経由でファイルを伝送するサービス。

2.1.3 ご利用いただく際のご利用企業様側対応概要

金融 EDI 情報を活用して決済関連事務の合理化等を行う場合、主に以下の対応が必要となりますが、規模や取引量等に応じて対応内容は変わりますので、詳細についてはシステムベンダ等へご相談ください。

- ① 企業間取引（受発注～請求等）の電子化、IT 化
- ② 会計システム等への金融 EDI 情報の搭載機能や金融 EDI 情報を活用した売掛金自動消込機能の実装
- ③ 本システムへの接続対応（本ガイダンスで対応概要を記載します。）

上記③の本システムへ接続対応にあたっては、XML 形式のレコード・フォーマットをご利用いただくことが必要になります。

また、ご利用チャンネルに応じて接続方法が異なります。接続の全体像について図 2.1-2 に示します。

なお、本書においては、FB（ファームバンキング）ルートをご利用いただく際の対応事項について示しており、詳細については「3. ご利用開始方法について（一括ファイル伝送）」以降をご参照ください。IB（インターネットバンキング）ルートについては各取引先金融機関に応じて操作性等が異なることから、各取引先金融機関へお問合せください。また全銀ファイル伝送（VALUX）ルートについても、各取引先金融機関へお問合せください。

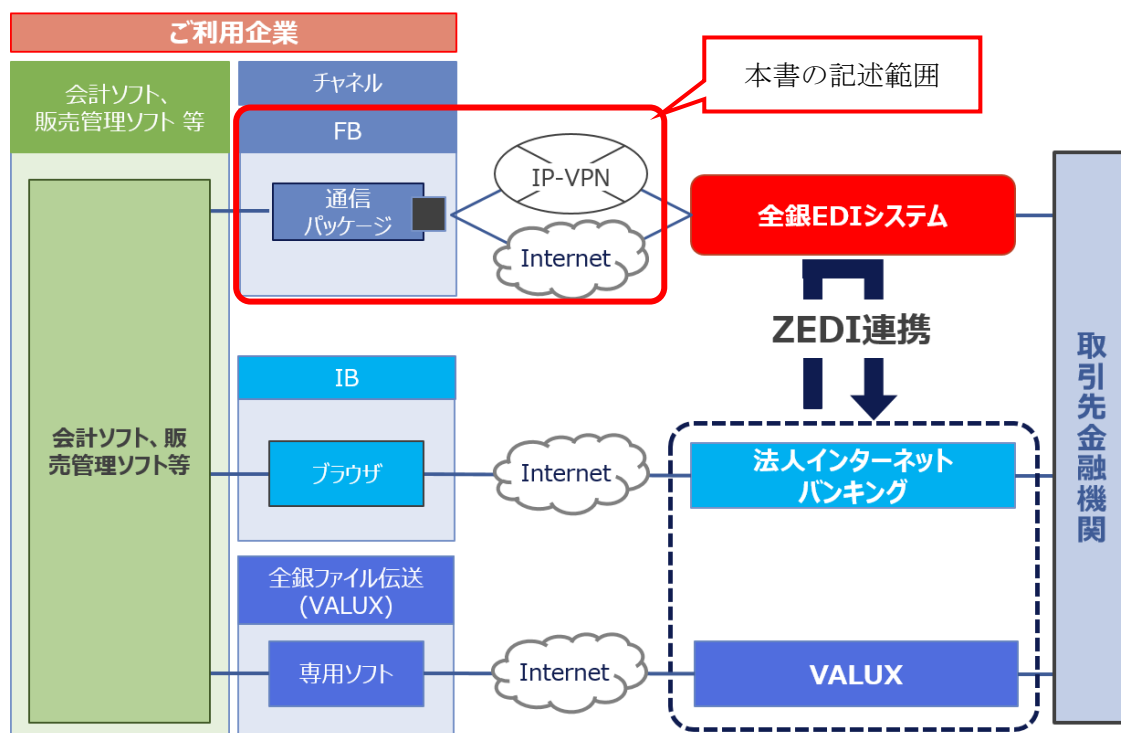


図 2.1-2 接続の全体像



XML とは

XML (eXtensible Markup Language=拡張可能な意味付け言語)とは、文書やデータの意味や構造を記述するための意味付け(マークアップ)言語です。

入力されたデータ内容の前後に「タグ」と呼ばれるルールが決まった文字を挿入し印を付けることで、データ内容の意味付けを行います。意味付けする際に、文字列の前に置くタグを「開始タグ」、後ろに置くタグを「終了タグ」と呼び、開始タグは「<ルール名>」、終了タグは「</ルール名>」という形式で示されます。

XML を使用したデータの記述イメージを下記に示します。

<支払情報>

<支払通知書番> 01234567 </支払通知番号>

<支払通知発行日> 20181225 </支払通知発行日>

<製品名> 飲料水 </製品名>

<単価> 120 </単価>

<個数> 1000 </個数>

</支払情報>

青字 : XML タグ

赤字 : データ内容



XML 形式レコード・フォーマットについて

全銀協において、本システムが取り扱う適用業務および各適用業務におけるレコード・フォーマット(XML 形式)を制定しています。

<https://www.zenginkyo.or.jp/news/2017/n8335/>

【出所】「XML 形式適用業務およびレコード・フォーマット」の制定について
(全国銀行協会)

3. ご利用開始方法について（一括ファイル伝送）

3.1 企業様の準備事項について

本システムのご利用を検討いただく際の検討手順や準備いただく事項を表 3.1-1 に示します。

表 3.1-1 企業様の準備事項

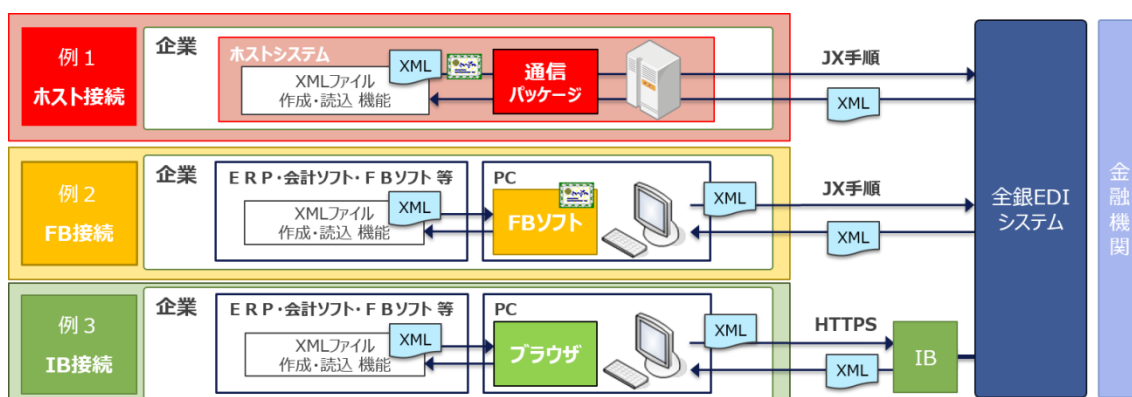
手順	項目	内容
1	取引先金融機関に相談	取引先金融機関に対して全銀 EDI システムの利用に関してお問合せください。 ※サービス内容（利用条件、受付時間、料金等）をご確認ください。
2	接続方法の検討 【3.2 全銀 EDI システムへの主な接続方法】	本システムの接続方法をご検討ください。 ・FB 利用による接続 ・IB 利用による接続
3	現在使用している会計・販売管理ソフトおよび通信パッケージ、FB ソフト等への影響確認 【3.3 企業様側システムの主な対応方法】	現在使用している会計ソフトや通信ソフトへの影響についてご確認ください。必要に応じて、本システム対応ソフトの購入や改修をご検討ください。
4	接続環境の準備 【3.4 ネットワーク対応方法】	本システムへ接続するための環境をご準備ください。 ・FB ソフトや基幹ホスト等の準備 ・ネットワークの準備 ※インターネットバンキングを利用する場合は、取引先金融機関へお問合せください。
5	取引先との調整	取引先と必要に応じて、金融 EDI 情報の設定方法について調整ください。
6	取引先金融機関への利用申込み 【3.5 金融機関への申込み】	本システムを利用した FB サービスの利用開始にあたり、取引先金融機関に対し申込書を提出していただきます。

3.2 全銀 EDI システムへの主な接続方法

本システムへの主な接続方法（例）を表 3.2-1 および図 3.2-1 に示します。
ご利用企業様のご利用環境に応じて接続形態をご検討いただくことになります。

表 3.2-1 全銀 EDI システムの主な接続方法

区分	接続形態	接続方法内容（想定）
FB	ホスト （例 1）	企業様のホストシステムから JX 手順において本システムに接続します。
	クライアントソフト （例 2）	PC へインストールする専用ソフトを使用して、JX 手順において本システムに接続します。
IB	ブラウザ （例 3）	取引先金融機関のインターネットバンキングを利用して本システムに接続します。



※上記機能および接続方法は一例であり、ファイルの作成・読込および接続方法を指定・限定するものではありません。

図 3.2-1 全銀 EDI システムの主な接続イメージ

3.3 企業様側システムの主な対応方法

金融 EDI 情報の作成、読み込み、本システムへの送受信処理に関する主な対応内容（例）を表 3.3-1 に示します。

下記は一般的名例であり、詳細については貴社システム部やシステムベンダへご相談ください。

表 3.3-1 企業様側システム対応内容（例）

区分	対応方針	内容（想定）
通信	市販の通信パッケージの購入	市販の通信パッケージをご利用いただき、本システムへ接続します。 ※ご利用中の製品のバージョンアップ対応も考えられますので、詳細については各通信パッケージベンダにお問合せください。
	自社開発	通信パッケージの自社開発を行い本システムへ接続します。
業務 （会計ソフト等）	市販ソフトウェアの購入	会計、販売パッケージ等の市販ソフトウェアをご利用いただき対応します。 詳細については各ソフトウェアベンダにお問合せください。
	自社開発	自社開発した業務システムで対応します。
	S-ZEDI	市販ソフトウェア等を利用せず、全銀ネットで用意するウェブブラウザから手入力において金融 EDI 情報を添付したデータ（XML 形式のデータ）を作成します。



S-ZEDI とは

本システムでは、簡単に金融 EDI 情報を添付したデータ（XML 形式のファイル）を作成することが可能な機能を提供いたします。インターネットにつながるご利用のパソコン等から WEB ブラウザを用いて WEB 画面上で情報を入力することで、本システムに対応した XML ファイル（総合振込）を作成することができます。

なお、S-ZEDI については、XML 形式のファイル作成のみの機能となるため、ファイル作成後、FB か IB を利用して本システムへファイル送信いただく必要があります。

S-ZEDI のご利用方法については「参考2. S-ZEDI のご利用方法について」をご参照ください。

3.3.1 通信・業務

(1) 市販の通信パッケージ・FB ソフトウェアの購入

市販の通信パッケージ・FB ソフトウェアを購入される場合、本システム対応の製品をご利用ください。

「全銀 EDI システムに対応した製品・サービス一覧」に対応製品および問合せ先をまとめておりますので、詳細については直接提供元にお問合せください。

(2) 自社開発

自社開発を行う場合は、取引先金融機関へ API 仕様書の開示依頼を行ったうえ、本システムの API 仕様に従った対応を実施ください。

対応概要については「参考 1. 自社開発を行う場合の対応概要」をご参照ください。

3.4 ネットワーク対応方法

3.4.1 全銀 EDI システムとの接続方法について

(1) ネットワークについて

本システムに接続するためのネットワークとして、インターネット回線または **Connecure** をご準備ください。

ネットワークについては別途利用料金が発生します。インターネット回線をご利用の場合は、インターネットサービスプロバイダへお問合せください。**Connecure** については、株式会社NTTデータが提供する回線(閉域網サービス)となります。**Connecure** のサービスメニューおよび提供料金の詳細については「参考3. **Connecure** について」をご参照ください。

(2) 通信プロトコルについて

JX 手順を使用した、**HTTPS** による暗号化通信を行います。また **Connecure** 接続においては、さらに **IPsec** による暗号化を行います。

3.4.2 クライアント証明書による接続認証について

一括ファイル伝送 (**FB**) において本システムに接続するためには、クライアント証明書による接続認証を行います。

3.5 金融機関への申込み

金融機関への申込みから利用開始までの一連の流れを以下に示します。

個別金融機関をご利用の場合（追加で他の個別金融機関を利用する場合も含む）と、当初から複数金融機関をご利用する場合で、本システムの利用開始申込みの手順が異なりますので、ご注意ください。

3.5.1 個別金融機関を利用する場合

個別金融機関を利用する場合の利用開始までの申込みの流れを表 3.5-1 に示します。

表 3.5-1 申込みから利用開始までの流れ（個別金融機関を利用する場合）

手順	項目	内容
1	FB サービスの利用申込み (企業様→取引先金融機関)	本システムを利用した FB サービスの利用開始にあたり、取引先金融機関に対し申込書を提出していただきます。

手順	項目	内容
2	クライアント証明書発行申込書類の準備	全銀ネットウェブサイト等の所定のページにアクセスします。クライアント証明書発行申込書、利用規約をダウンロードします。利用規約をご確認し、申込書に必要事項を記入します。
3	本システム利用開始申込み	本システムの利用開始にあたり、取引先金融機関に対し、クライアント証明書発行申込書を提出します。（手順2で作成）
4	利用確認 （取引先金融機関→全銀ネット）	取引先金融機関において、申込内容や FB 契約先企業様であることを確認のうえ、クライアント証明書発行手続を開始します。 具体的には、全銀ネットに対し、クライアント証明書発行依頼を行います。
5	クライアント証明書発行処理 （全銀ネット→企業様）	全銀ネットでは金融機関の申請にもとづき本システムに対してクライアント証明書発行処理を行います。 その後、全銀ネットは企業様に対してクライアント証明書の取得に必要な情報をメール等により通知します。
6	クライアント証明書の取得 （企業様→本システム）	企業様は、全銀ネットからの通知を受け、本システムに対して FB ソフト等からクライアント証明書の取得を行います。
7	利用開始	企業様は、クライアントソフトの設定や伝送ファイルの作成など利用開始の準備を行い、利用開始準備が整いましたら、利用開始となります。

※変更・解約の手続も取引先金融機関にお問合せください。

3.5.2 当初から複数金融機関を利用する場合

当初から複数金融機関を利用する場合の利用開始までの申込みの流れを表 3.5-2 に示します。

表 3.5-2 申込みから利用開始までの流れ（当初から複数金融機関を利用する場合）

手順	項目	内容
1	クライアント証明書発行申込書類の準備	全銀ネットウェブサイト等の所定のページにアクセスします。マルチバンククライアント証明書発行申込書、利用規約をダウンロードします。利用規約をご確認し、申込書に必要事項を記入します。
2	本システム利用開始申込み （企業様→全銀ネット）	本システムの利用開始にあたり、全銀ネットに対し、マルチバンク証明書発行申込書を郵送します。（どちらも手順1で作成）
3	利用確認 （全銀ネット→取引先金融機関）	全銀ネットは、対象金融機関にマルチバンク証明書発行の依頼を行います。
4	FB サービスの利用申込み （企業様→取引先金融機関）	本システムを利用した FB サービスの利用開始にあたり、利用する全ての取引先金融機関に対し申込書を提出いただきます。
5	利用確認 （取引先金融機関→全銀ネット）	取引先金融機関において、マルチバンク証明書発行手続を開始します。 具体的には、全銀ネットに対し、クライアント証明書発行依頼を行います。
6	クライアント証明書発行処理 （全銀ネット→企業様）	全銀ネットでは金融機関の依頼にもとづき本システムに対してクライアント証明書発行処理を行います。 その後、全銀ネットは企業様に対してクライアント証明書の取得に必要な情報をメール等により通知します。
7	クライアント証明書の取得 （企業様→本システム）	企業様は、全銀ネットからの通知を受け、本システムに対して FB ソフト等からクライアント証明書の取得を行います。

手順	項目	内容
8	利用開始	企業様は、クライアントソフトの設定や伝送ファイルの作成など利用開始の準備を行い、利用開始準備が整いましたら、利用開始となります。

※変更・解約の手続も取引先金融機関にお問合せください。



クライアント証明書とは

クライアント証明書とは、個人や組織を認証し発行される電子証明書のことです。システムやサービス等を利用するユーザの端末等に証明書をインストールし、そのユーザが正規の利用者であることを認証します。

FB ルートにおいて本システムに接続するためには、クライアント証明書による接続認証が必要となります。クライアント証明書は、取引先金融機関を経由した企業様からの申込みにもとづき全銀ネットが発行いたします。

証明書の有効期限は、2年(730日)で、期限到来の40日前から証明書の更新が可能となります。

なお、IB方式では、この証明書は使用いたしません。各IBサービスの認証方法に従った接続認証となります。



マルチバンク証明書について

本システムでは、マルチバンク証明書を採用しています。

企業様は複数の取引先金融機関の取引について、1枚のクライアント証明書で本システムとの接続認証を行うことができます。



クライアント証明書の取得イメージ

通信パッケージソフト等の機能を用い、証明書の発行局となる本システムへ作成したCSR(クライアント証明書の発行要求情報)を送信し、証明書を取得します。取得済み証明書の有効期限チェックを行い、更新時期に証明書の更新(再取得)を行います。

※上記機能はイメージ例であり、通信パッケージソフト等の開発範囲、機能等を指定・限定するものではありません。

4. ご利用のためのご相談事項

4.1 金融機関へのご相談

4.1.1 全銀 EDI システム対応サービスの提供状況について

金融機関によって本システムのサービス対応状況が異なります。各取引先金融機関にお問合せください。

4.1.2 利用申込み手続について

ご利用時間、受付日、手数料等を含めて、各取引先金融機関にお問合せください。

4.1.3 法人 IB における全銀 EDI システムの利用方法について

法人 IB（インターネットバンキング）における本システムの利用方法については、各取引先金融機関にお問合せください。

4.1.4 全銀ファイル伝送（VALUX）における全銀 EDI システムの利用について

全銀ファイル伝送（VALUX）における全銀 EDI システムの利用については、各取引先金融機関にお問合せください。

4.2 IT ベンダへのご相談

4.2.1 全銀 EDI システム対応 FB ソフトの導入について

ソフトウェアベンダに直接お問合せください。

4.2.2 通信パッケージソフトの導入について

通信パッケージベンダに直接お問合せください。

4.2.3 ERP、会計ソフトの全銀 EDI 対応について

ソフトウェアベンダに直接お問合せください。

4.3 社内関係部門との調整

本システムのサービス導入に向けて「3.3 企業様側システムの主な対応方法」に記載の準備が必要となります。貴社内との関係部署と調整のうえ、ご検討ください。

4.4 お取引先とのご相談

本システムの利用に伴う事務の効率化について、事前取引先と金融 EDI 情報に設定する内容等の調整が必要となります。

具体的には、受取企業様側で入金消込に必要な情報項目の事前調整や支払企業様におけるこれら情報の設定方法の調整が必要となります。

5. 用語の解説

本ガイドンスで使用する用語について表 5.1-1 に示す。

表 5.1-1 用語集

項番	用語	解説
1	全銀協	「一般社団法人全国銀行協会」のことをいう。
2	全銀ネット	「一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク」のことをいう。
3	全銀システム	全銀ネットが運営する、金融機関相互間の内国為替取引をオンライン処理するシステムのことをいう。
4	NTT データ	「株式会社エヌ・ティ・ティ・データ」のことをいう。
5	企業	本システムを利用する企業（個人事業主を含む）のことをいう。
6	Connecure	NTT データが提供している閉域網サービスのことをいう。
7	JX 手順	データを転送するためのシンプルな通信プロトコルで、クライアント側が通信処理の起点となって相手側サーバにアクセスする Pull 型の通信方式のことをいう。
8	FB	ファームバンキングのことをいう。
9	IB	インターネットバンキングのことをいう。
10	取引明細	総合振込の振込先（被仕向情報）の単位のことをいう。
11	通信制御情報	センタ確認コードおよびパスワードによって接続相手の正当性チェックを実施するほか、データ送受信の方向(連絡モード、照会モード)等を制御する、通信制御電文で使用する情報のことをいう。
12	ファイル制御情報	ファイルアクセスキーによってファイルアクセス相手の正当性チェックを実施するほか、伝送結果の確認および障害復旧時等におけるデータの再送等に関する制御を実施する、ファイル制御電文で使用する情報のことをいう。
13	ISO20022	XML を主要なデータ記述言語として利用する、金融通信メッセージの国際規格のことをいう。

※本資料に記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

項番	用語	解説
14	BAH	企業と本システム間の総合振込、振込入金通知、入出金取引明細における通信制御、ファイル制御を連携するためのインターフェースのことをいう。 企業が本システムへ送信する BAH の場合、金融機関との全銀協標準通信プロトコルーTCP/IP 手順ーによる通信で必要な情報等を含む。企業が本システムから受信する場合は、「総合振込依頼」、「振込入金通知依頼」、「入出金取引明細依頼」の処理結果等を含む。
15	pain.001	企業から本システムへ、「総合振込依頼」の振込情報を連携するためのインターフェースのことをいう。
16	pain.002	本システムから企業へ、「総合振込結果」を連携するためのインターフェースのことをいう。
17	camt.052	本システムから企業へ、金融機関からの「入出金取引明細結果」を連携するためのインターフェースのことをいう。
18	camt.054	本システムから企業へ、金融機関からの「振込入金通知結果」を連携するためのインターフェースのことをいう。
19	base64 エンコード	対象データを 64 種類の印字可能な英数字(A-Z、a-z、0-9、+、/)とパディングのための記号(=)のテキストデータに変換するエンコード方式のことをいう。(RFC 2045 参照)
20	EV SSL 証明書	通信相手の実在性などの認証方法を厳格にした SSL サーバ証明書のことをいう。 「Extended Validation SSL 証明書」の略称。

6. ご照会先

6.1 全銀 EDI システムに係る問合せ先

一般社団法人 全国銀行資金決済ネットワーク

業務部 全銀 EDI グループ

【全銀 EDI システム問合せ専用アドレス】: xml_system_info@zengin-net.jp

6.2 Connecure に係る問合せ先

「参考 3. Connecure について 3.7 Connecure に係る問合せ先」を参照

以上

参考 1. 自社開発を行う場合の対応概要

本システムとの接続に係る通信および業務について貴社において開発を行う場合の対応概要について、以下に示します。

詳細な内容については、API 仕様書の開示依頼を取引先金融機関に行ってください。

1.1 貴社ご利用環境の準備

本システムに接続するにあたり、ご準備いただく範囲（例）を図 参考 1.1-1、表 参考 1.1-1 に示します。

下記機能は一例であり、開発範囲、機能等を指定・限定するものではありません。

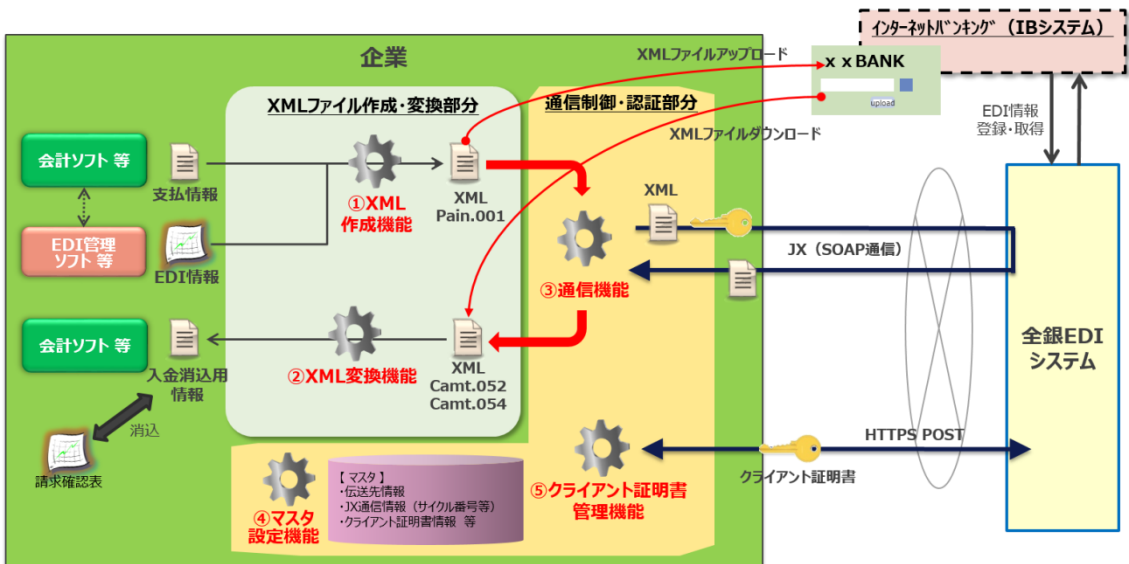


図 参考 1.1-1 利用環境の準備範囲（例）

表 参考 1.1-1 利用環境の準備範囲（例）

項番	分類	対応機能	詳細
①	XML ファイル 作成・変換部分	XML 作成機能	支払情報および EDI 情報※をもとに、本システム向けに総合振込 XML ファイル（pain.001）の作成機能を提供する。 ※EDI 情報については、base64 エンコードを実施する。

項番	分類	対応機能	詳細
②		XML 変換機能	本システムから受領する振込入金通知・入出金取引明細 XML ファイル (Camt.052、Camt.054) をもとに、受取企業向けに EDI 情報※を還元し、入金消込ができる機能を提供する。 ※EDI 情報については、base64 デコードを実施する。
③	通信制御・認証部分	通信機能	本システムと JX 手順によって XML ファイルの送受信する機能を提供する。(伝送制御情報等を設定する BAH を作成、クライアント証明書による認証を実施する)
④		マスタ設定機能	本システムとの通信を行う際の伝送先情報、JX 通信情報 (サイクル番号等)、クライアント証明書情報を設定する機能を提供する。
⑤		クライアント証明書管理機能	クライアント証明書の有効期限管理、登録・更新機能を提供する。

1.2 接続イメージ

一括ファイル伝送 (JX 手順) による本システムとの接続イメージを図 参考 1.2-1、図 参考 1.2-2 に示します。

なお、一括ファイル伝送 (JX 手順) における留意事項は下記のとおり。

◆全銀 EDI システムへの結果取得 (第 2 シーケンス) 依頼タイミングについて

伝送依頼(第 1 シーケンス)から結果取得依頼(第 2 シーケンス)の間隔は、全銀 EDI システムの性能および業務量のピークを考慮した、10 分を推奨します。

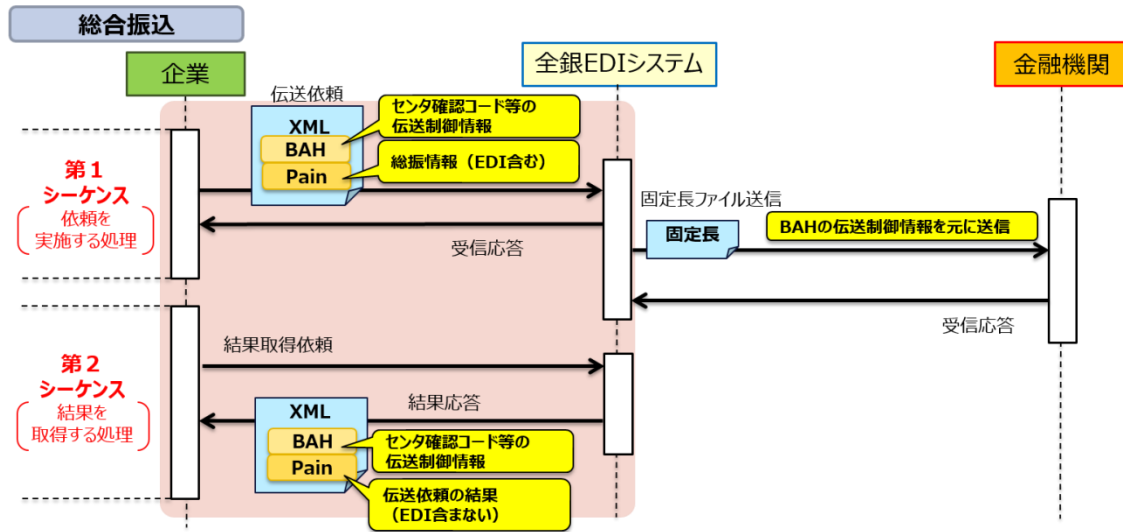


図 参考 1.2-1 一括ファイル伝送の接続イメージ (総合振込)

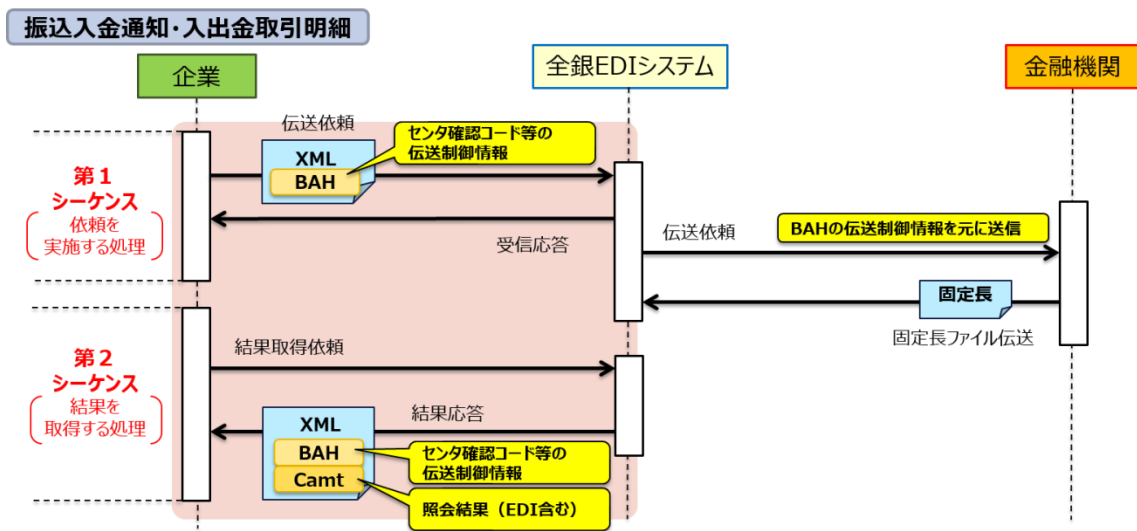


図 参考 1.2-2 一括ファイル伝送の接続イメージ (振込入金通知・入出金取引明細)

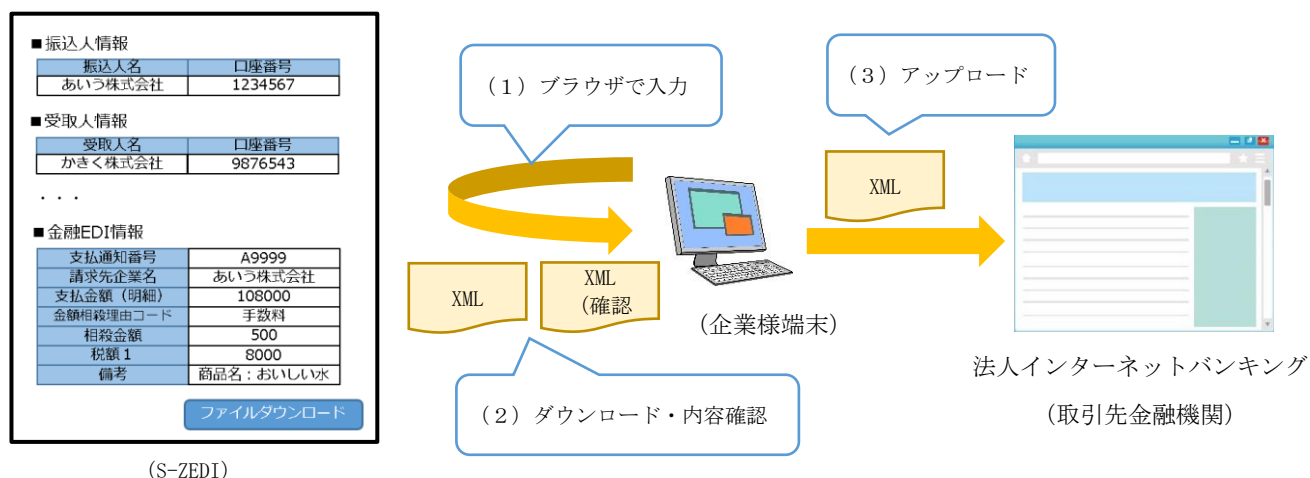
参考 2. S-ZEDI のご利用方法について

2.1 機能概要

WEB ブラウザ上での画面入力で XML 形式の総合振込ファイル（pain.001）を作成する機能です。

2.2 利用イメージ

S-ZEDI の利用イメージを図 参考 2.2-1 に示します。



(1) ブラウザで入力

S-ZEDI の WEB 画面にアクセスし、ブラウザ上で振込に必要な情報（仕向／被仕向口座情報や金額等）および金融 EDI 情報（「参考 2.4 S-ZEDI の金融 EDI 情報について」参照）を入力します。

(2) ダウンロード・内容確認

総合振込依頼明細ファイルおよび総合振込依頼明細（確認用）ファイルをダウンロードし、総合振込依頼明細（確認用）ファイルにて内容に誤りがないことを確認します。

(3) アップロード

(2) でダウンロードした総合振込依頼明細ファイルをご利用の法人インターネットバンキングにアップロードします。

※アップロードの手順等、法人インターネットバンキングの操作に関する不明点は、取引先金融機関にお問合せください。

2.3 利用方法

(1) WEB 画面へのアクセス

WEB ブラウザから S-ZEDI の URL（取引先金融機関にお問合せください。）にアクセスします。

(2) 支払情報の入力

振込依頼人情報入力画面（図 参考 2.3-1）において、取組日、振込依頼人情報等を入力します。

グループメッセージ ID、支払情報 ID は、XML ファイルの仕様上必須項目となります。初期値として現在日時 (YYYYMMDDhhmm) + “001” が表示されますので、異なる ID にしたい場合は変更してください。利用しない場合には、特に変更の必要はありません。

(3) 取引明細画面への遷移

取引明細入力ボタンを押下し、取引明細入力画面（図 参考 2.3-2）に遷移します。

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00

マニュアルダウンロード

本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成 総合振込依頼 振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。

※は必須項目です。

■ 取組日

取組日 (振込指定日) ※

(YYYYMMDD)

■ 振込依頼人情報

振込依頼人コード ※

振込依頼人名 ※

法人番号 (法人マイナンバー)

銀行番号 ※

銀行名

支店番号 ※

支店名

預金種目

口座番号

■ 取引管理情報

グループメッセージID ※ 注1

支払情報ID ※ 注2

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てる任意の番号を入力してください。

注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に割当てる任意の番号を入力してください。

■ 取引明細一覧

取引明細入力

取引明細確認

チェクした取引明細を一覧で確認できます。

■ 取引明細合計

合計件数 (件)

合計金額 (円)

総合振込依頼明細 (確認用) ファイルダウンロード

入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細 (確認用) ファイルをダウンロードします。このファイルは内管確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

総合振込依頼明細 (確認用) ファイルダウンロード

総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図 参考 2.3-1 振込依頼人情報入力画面

(4) 取引明細情報の入力

取引明細入力画面（図 参考 2.3-2）において、受取人情報、振込金額等を入力します。

(5) 金融 EDI 情報の入力

必要に応じて、取引に紐付く金融 EDI 情報を入力します。

金融 EDI 情報は、1 取引明細あたり最大 10 件まで入力可能です。

金融 EDI 情報の項目については、「参考 2.4 S-ZEDI の金融 EDI 情報について」をご参照ください。

(6) 取引明細一覧へ反映

取引明細情報、金融 EDI 情報の入力が完了したら、取引明細一覧に反映ボタンを押下し、振込依頼人情報入力画面（図 参考 2.3-3）に遷移します。取引明細一覧に入力した内容が反映されます。

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00

マニュアルダウンロード

本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成_総合振込依頼_取引明細入力

本画面では、受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力します。

※は必須項目です。

(4) 取引明細情報の入力

■ 受取人情報

受取人名称	法人番号(法人マイナンバー)	手形交換所番号
(半角30文字以内)	(半角数字13桁)	(半角数字4桁)

銀行番号	銀行名	支店番号	支店名
(半角数字4桁)	(半角15文字以内)	(半角数字3桁)	(半角15文字以内)

振込種目	口座番号
(半角数字7桁以内)	(半角数字17桁以内)

■ 振込金額

振込金額(円)
(半角数字10桁以内)

■ その他取引明細情報

取引明細識別番号	注1	群コード1	群コード2
(半角35文字以内)		(半角10文字以内)	(半角10文字以内)

振込指定区分	識別表示	群コード(ヘッダー)	群コード(データ)	新規コード
(半角1桁)		(半角17文字以内)	(半角7文字以内)	注2

注1 取引明細を識別するための任意の番号を入力してください。S-ZEDIでは1ファイル内に最大10件の取引明細を作成可能です。
注2 新規コードを2桁00~99以内より選択して下さい。選択内容に関するお問い合わせは、お取引先金融機関までお願ひいたします。
(その他) 1(第1回振込分) 2(変更分(振込向銀行・支店・振込種目・口座番号))

(5) 金融EDI情報の入力

■ 金融EDI情報

金融EDI情報1
業界区分 (半角英数字3文字以内) (1)
データ区分 (半角英数字3文字以内) (1)
支払通知番号 (全半角(自由入力)40文字以内) (1)
支払通知発行日 (YYYYMMDD) (1)
請求番号(入力履歴) (全半角(自由入力)40文字以内) (1)
支払人企業法人コード(入力履歴) (半角数字13桁) (1)
受取人企業法人コード (半角数字13桁) (1)
請求先企業名 (全半角(自由入力)40文字以内) (1)
請求先企業法人コード (半角数字13桁) (1)
支払金額(明細) (半角英数字10文字以内) (1)
金額相殺理由 (全半角(自由入力)40文字以内) (1)
相殺金額 (半角英数字10文字以内) (1)
残高1 (半角英数字10文字以内) (1)
残高2 (半角英数字10文字以内) (1)
残高3 (半角英数字10文字以内) (1)
残高4 (半角英数字10文字以内) (1)
残高5 (半角英数字10文字以内) (1)
残高6 (半角英数字10文字以内) (1)
残高7 (半角英数字10文字以内) (1)
残高8 (半角英数字10文字以内) (1)
残高9 (半角英数字10文字以内) (1)
残高10 (半角英数字10文字以内) (1)
備考 (全半角(自由入力)140文字以内) (1)

(6) 取引明細一覧へ反映
(振込依頼人情報入力画面に遷移)

取引明細一覧へ反映

取引明細一覧へ反映せずに戻る

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図 参考 2.3-2 取引明細入力画面

(7) 取引明細情報の追加

取引明細情報を追加する場合は、(3)～(6)を繰り返します。

取引明細情報は、1ファイルあたり最大10明細まで登録可能です。

(8) 確認用ファイルの取得

入力が完了したら、総合振込依頼明細(確認用)ファイルダウンロードボタンを押下し、確認用のXMLファイルを取得し、内容を確認します。

※確認用ファイルは金融EDI情報が変換されていないため、確認・保存用としてご利用ください。

(9) XMLファイルの取得

内容確認後、総合振込依頼明細ファイルダウンロードボタンを押下し、XMLファイルを取得します。

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00～19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。

簡易XMLファイル作成_総合振込依頼_振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。

※は必須項目です。

■取引日

取引日(振込指定日) ※
20181225 (YYYYMMDD)

■振込依頼人情報

振込依頼人コード ※	振込依頼人名 ※	法人番号(法人マイナンバー)	
1234567890 (半角数字10桁)	株式会社〇〇〇 (半角40文字以内)	1234567890123 (半角数字13桁)	
銀行番号 ※	銀行名	支店番号 ※	支店名
0000 (半角数字4桁)	〇〇〇銀行 (半角15文字以内)	000 (半角数字3桁)	〇〇〇支店 (半角15文字以内)
預金種目	口座番号		
1(普通預金) (プルダウン)	00000000 (半角数字7桁以内)		

■取引管理情報

グループメッセージID ※ 注1	
201512250800001 (半角35文字以内)	

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細
注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に該当する任意の

取引明細入力画面で入力した情報が反映されます。

■取引明細一覧

順番	削除	取引明細編集	銀行番号	支店番号	預金種目	口座番号	受取人名	振込金額(円)	金融EDI情報入力
1	☐	取引明細編集	9999	999	1(普通預金)	9999999	株式会社〇〇〇	1,000,000,000	有

[取引明細入力](#) 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力する画面へ移動します。

[取引明細削除](#) チェックした取引明細を一覧から削除します。

■取引明細合計

合計件数(件)	合計金額(円)
1	

[総合振込依頼明細\(確認用\)ファイルダウンロード](#) このXMLファイルは総合振込に利用するファイルであり、総合振込に利用できません。

[総合振込依頼明細XMLファイルダウンロード](#) 総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図 参考 2.3-3 振込依頼人情報入力画面



確認用ファイルについて

S-ZEDI では、総合振込に利用できる XML ファイルと、金融 EDI 情報の内容を確認することのできる確認用ファイルの2種類のファイルがダウンロード可能です。

総合振込用の XML ファイルでは金融 EDI 情報が変換された形式で作成されます。確認用ファイルは金融 EDI 情報が変換されずに作成されるため、内容確認が必要な場合は確認用ファイルをダウンロードしてご利用ください。

ただし、確認用ファイルは総合振込においてはご利用いただけませんのでご注意ください。

■金融 EDI 情報の出力イメージ

【金融 EDI 情報の変換あり(XML ファイル)】

変換されていて
内容確認不可

<RmtInf>

```
<Ustrd>MIME-Version: 1.0</Ustrd>
<Ustrd>Content-Type: text/xml</Ustrd>
<Ustrd>Content-Transfer-Encoding: base64</Ustrd>
<Ustrd>TM3DOWEMPQxMZAgyN...TEBL5MTAC9+b2IQo</Ustrd>
<Ustrd>Q5MDEwMTAwMDAwMT...8YnV5ZXI+DQogICAg</Ustrd>
:
:
<Ustrd>CgOKDQoNCgOKICAgICAg</Ustrd>
```

</RmtInf>

【金融 EDI 情報の変換なし(確認用ファイル)】

変換されておらず、
入力した内容が確認できる

<RmtInf>

```
<Ustrd>
  <EDIInf1>
    <SubsetSpecifiedID>業界区分</SubsetSpecifiedID>
    <BusinessProcessSpecifiedID>データ区分</BusinessProcessSpecifiedID>
    <ExchangedDocumentID>支払通知番号</ExchangedDocumentID>
    :
    :
    <TaxTotalAmount>税額(合計)</TaxTotalAmount>
    <Content>備考</Content>
  </EDIInf1>
</Ustrd>
```

</RmtInf>

2.4 S-ZEDI の金融 EDI 情報について

S-ZEDI の金融 EDI 情報の項目を表 参考 2.4-1 に示します。

表 参考 2.4-1 S-ZEDI の金融 EDI 情報項目

項番	項目名	項番	項目名
1	業界区分	11	金額相殺理由
2	データ区分	12	相殺金額
3	支払通知番号	13	税額 1
4	支払通知発行日	14	税率 1
5	請求書番号	15	税額 2
6	支払人企業法人コード	16	税率 2
7	受取人企業法人コード	17	税額（合計）
8	請求先企業名	18	備考
9	請求先企業法人コード		
10	支払金額（明細）		



S-ZEDI の金融 EDI 情報項目について

金融 EDI 情報の項目については、経済産業省・中小企業庁主催の「金融 EDI における商流情報等のあり方検討会議」において、金融 EDI 情報として格納すべき商流情報として項目の整理がなされております。

<http://www.chusho.meti.go.jp/koukai/kenkyukai/kinyuedi/2016/161222kinyuedi.pdf>

【出所】「金融 EDI 情報として格納すべき商流の整理について(2016 年 12 月 22 日)」
(中小企業庁研究会 金融 EDI における商流情報等のあり方検討会)

S-ZEDI の金融 EDI 情報項目は、上記項目の中から必要と思われる 12 項目に「備考」等 6 項目を加えた 18 項目で整理を行っております。

2.5 セキュリティについて

S-ZEDI の Web サーバには、EV SSL 証明書を導入し、フィッシング詐欺対策を行っています。

参考 3. Connecure について

3.1 Connecure サービスの概要

本システムと企業様間の回線として、NTT データが提供している閉域網サービス（Connecure（コネキュア））と接続します。セキュリティポリシー上インターネット利用不可の企業様・大量データ取扱い企業様・ホスト接続企業様等のご利用を想定しております。

3.2 Connecure の特徴

インターネット等他のネットワークと分離されており、高セキュリティレベルの通信品質を提供いたします。

3.3 回線メニューについて

Connecure サービスの回線メニューについて、図 参考 3.1-1 に示します。

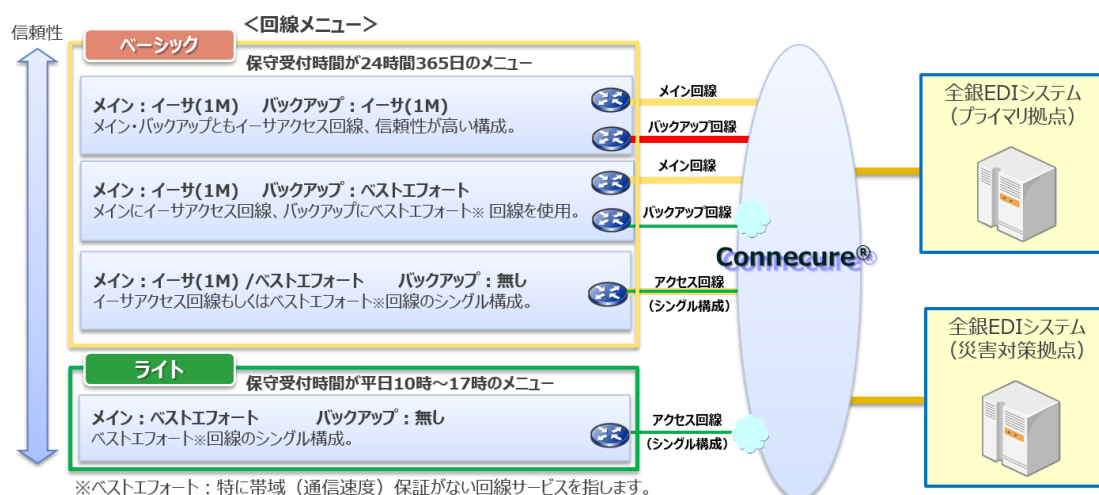


図 参考 3.1-1 Connecure サービスの回線メニュー

詳細は、株式会社 NTT データ Connecure 窓口までお問合せください。

3.4 料金体系

Connecure サービスの初期費用および月額費用を以下に示します。

3.5 初期費用（一時費用）

Connecure サービスの初期費用を表 参考 3.2-1 に示します。（2018 年 1 月時点）

※メニュー・料金体系については、予告なく変更させていただく場合があります。

表 参考 3.2-1 初期費用（一時費用）

No	基本／オプション	メニュー名	単価
1	基本	ベーシック 1 M + 1 M	¥220,500
2		ベーシック 1 M + ベストエフォート	¥238,300
3		ベーシック 1 M	¥185,000
4		ベーシック ベストエフォート	¥204,800
5		ライト ベストエフォート	¥204,800
6		ライト ミニマム	¥204,800
7	オプション	ASP サービス追加設定料	¥80,000

※ASP サービス追加設定料は、1 回の追加設定ごとに発生します。メニュー新設時にご依頼された場合、料金は発生いたしません。

3.6 月額費用

Connecure サービスの月額費用を表 参考 3.2-2 に示します。（2018 年 1 月時点）

※メニュー・料金体系については、予告なく変更させていただく場合があります。

表 参考 3.2-2 月額費用

No	基本／オプション	メニュー名	単価
1	基本	ベーシック 1 M + 1 M	¥180,000
2		ベーシック 1 M + ベストエフォート	¥136,900
3		ベーシック 1 M	¥90,000
4		ベーシック ベストエフォート	¥46,900
5		ライト ベストエフォート	¥19,800
6		ライト ミニマム	¥9,800
7	オプション	ASP サービス追加設定料※	¥5,000

※ASP サービス追加利用料は、ご利用される ASP サービス毎に発生します。

3.7 Connecureに係る問合せ先

株式会社 NTT データ

ネットワークソリューション事業部 営業担当 Connecure 窓口

メールアドレス：connecure_sales@kits.nttdata.co.jp

なお、「ライト ミニマム」メニューご利用時の留意事項は下記のとおり。

◆XML 電文における明細数の目安について

「ライト ミニマム」メニューは、200kbps（ベストエフォート）の帯域制限があるため、全銀 EDI システムの各業務において、1 ファイルの明細数が記載の範囲を超える場合は、ネットワーク遅延が発生する想定。記載以上の明細数が予定されている場合は、上位メニューをご利用いただきたい。

【XML 電文における明細数の目安】

項番	対象業務	明細数（目安）
1	総合振込	21 明細
2	振込入金通知	18 明細
3	入出金取引明細	17 明細

※上記明細の試算は、全銀 EDI システムの基本設計においてデータ量算出に用いたデータ長の考え方にもとづき実施。

※ベストエフォート回線であるため、実測値はさらに劣化することがある。

◆ネットワーク遅延が発生した場合の対処について

ネットワーク遅延は利用企業様ご自身において、検知していただくとともに、遅延が頻発する場合の対処としては、上位メニューへの契約変更を行っていただく必要がある。

またネットワーク遅延が発生した場合、ZEDI センタ側における一括ファイル伝送の「企業同時アクセス数（最大 64 セッション）」に影響が生じる。1 回線にネットワーク遅延が発生した場合、その間は企業同時アクセス数の 1 セッションをつかんだままの状態となるため、状況に応じて ZEDI センタ側で調査を行うことがある。

参考 4. XML 形式適用業務およびレコード・フォーマットについて

4.1 XML 形式適用業務およびレコード・フォーマットについて

全銀協において本システムの稼動を見据え、本システムが取り扱う適用業務および各適用業務におけるレコード・フォーマット（XML 形式）を制定しており、全銀協の HP において公表しております (<https://www.zenginkyo.or.jp/news/2017/n8335/>)。XML 形式適用業務およびレコード・フォーマットの詳細は HP においてご確認ください。また、概要については次頁以降をご確認ください。

4.1.1 企業から本システムへ送信するレコード・フォーマット

企業から本システムへ送信するレコード・フォーマット（総合振込依頼制御情報レコード・フォーマット、総合振込依頼明細レコード・フォーマット、振込入金通知依頼制御情報レコード・フォーマット（XML形式）、入出金取引明細依頼制御情報レコード・フォーマット）の各項目は、表1に従って設定する。本定義に記載のないISO20022定義タグについてはインターフェースファイル内に存在していてもエラーとしない。

表1 本システムへ送信するレコード・フォーマット設定内容

項番	項目		説明
1	XMLタグ		英数字記号で記載する物理的なXMLのタグの名称を示す。
2	論理名		日本語で記載する論理的なXMLのタグの名称を示す。 各タグについての理解を補助するためのものである。
3	本システムにおける定義		各XMLタグの本システムにおける定義であり、ISO20022定義をベースとして、固定長ファイルへの変換を考慮した定義を示す。
4	繰返		本システムにおけるXMLタグの出現頻度を示す。以下に例を示す。 [0..1] : XMLタグがない、または1つであることを示す。 [0..n] : XMLタグがない、または2つ以上であることを示す。 [1..1] : XMLタグが必ず1つであることを示す。 [1..n] : XMLタグが1つ以上であることを示す。
5	項目属性		本システムにおける各XMLタグの項目属性(使用可能文字)を示す。項目属性については「表 2-1 項目属性ごとの使用可能文字」を参照のこと。 タグのみの場合は“±”である。 項目属性の指定がなく、ISO20022の使用可能文字範囲に準拠する場合は“-”である。
6	桁数	MIN	本システムにおけるXMLタグ内に設定する値の最小桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
7		MAX	本システムにおけるXMLタグ内に設定する値の最大桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
8	設定内容		本システムにおける各XMLタグへの設定内容を示す。 “全銀（ヘッダー）”、“全銀（データ）”、および“全銀（トレーラ）”は、全銀協制定レコード・フォーマット（固定長）におけるヘッダー・レコード、データ・レコード、およびトレーラ・レコードを示す。 複数項目を連結して設定するXMLタグについては、各項目の型と桁数を欄内の“型/桁数”に記載する。 “型”は、【X:ヘキサ表記】、【C:キャラクタ】、【N:数字】で記載する。
9	ISO20022定義(参考情報)		参考情報として、ISO20022で規定されたフォーマットを示す。
10	繰返		ISO20022で規定されているXMLタグの出現頻度を示す。 [0..1] : XMLタグがない、または1つであることを示す。 [0..n] : XMLタグがない、または2つ以上であることを示す。 [1..1] : XMLタグが必ず1つであることを示す。 [1..n] : XMLタグが1つ以上であることを示す。
11	Represent/Type		ISO20022で規定されているRepresent/Typeを示す。 タグのみの場合は“±”である。
12	データ型		ISO20022で規定されているデータ型を示す。 タグのみの場合は“-”である。
13	桁数	MIN	ISO20022で規定されているXMLタグ内に設定する値の最小桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
14		MAX	ISO20022で規定されているXMLタグ内に設定する値の最大桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。

本システムへ送信するレコード・フォーマットにおける項目のうち、全銀協制定レコード・フォーマット（固定長）と対応するマッピング項目については、項目ごとに使用可能文字が異なるため、項目属性として定義する。項目属性ごとの使用可能文字を以下に示す。

表 2－1 項目属性ごとの使用可能文字

項番	全銀協制定レコード・フォーマット (固定長)の項目または属性	項目属性名	使用可能文字
1	N属性の項目	N属性	「表 2－2」参照
2	全ての業務の「店舗名」	店舗名称属性	「表 2－3」参照
3	振込入金通知の「口座名」、「振込依頼人名」 入出金取引明細の「口座名」、「振込依頼人名」 総合振込の「振込依頼人名」、「受取人名」	名称属性	「表 2－4」参照
4	顧客コード1、顧客コード2	EDI属性	「表 2－5」参照
5	上記以外のC属性の項目	C属性	「表 2－6」参照

表 2－2 N属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	123456789

表 2－3 店舗名称属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	123456789
2	英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
3	カナ文字	アイエオカキククサシセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユラリルレロヲン
4	濁点半濁点	。。
5	記号	ー
6	スペース	半角スペース

表 2－4 名称属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	123456789
2	英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
3	カナ文字	アイエオカキククサシセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユラリルレロヲン
4	濁点半濁点	。。
5	記号	()ー.
6	スペース	半角スペース

表 2－5 EDI属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	123456789
2	英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
3	カナ文字	アイエオカキククサシセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユラリルレロヲン
4	濁点半濁点	。。
5	記号	¥「」()ー./.
6	スペース	半角スペース

表 2－6 C属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	123456789
2	英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
3	カナ文字	アイエオカキククサシセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユラリルレロヲン
4	濁点半濁点	。。
5	記号	¥「」()ー./.,+?:'
6	スペース	半角スペース

(1) 【BAH】 総合振込依頼制御情報、振込入金通知依頼制御情報、入出金取引明細依頼制御情報レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【BAH】 総合振込依頼制御情報レコード・フォーマット 【BAH】 振込入金通知依頼制御情報レコード・フォーマット 【BAH】 入出金取引明細依頼制御情報レコード・フォーマット
---------------	--

① 説明

- ・企業から本システムへの「総合振込依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
- ・企業から本システムへの「振込入金通知依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
- ・企業から本システムへの「入出金取引明細依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

- ・どの業務に対する【BAH】であるかは、<MsgDefldr>（項番 22）で設定する。
- ・なお、振込入金通知および入出金取引明細の依頼においては、上記【BAH】のみを本システムへ送信する。

データ項目		本システムにおける定義						ISO20022定義（参考情報）				
項番	XMLタグ	論理名	繰返	項目属性 ±はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		設定内容	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数	
					MIN	MAX					MIN	MAX
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-		-	-	-	-	-
2	<ApplHdr xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:hea d.001.001.01">	ビジネスアプリケーション ヘッダルート	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
3	<Fr>	当方情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
4	<OrgId>	当方組織情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
5	<Id>	当方組織詳細情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-
6	<OrgId>	当方識別子情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
7	<Othr>	当方識別子詳細情報	[1..1]	±	-	-		[0..n]	±	-	-	-
8	<Id>	当方識別子	[1..1]	-	27	27	以下を設定する。 「当方センター確認コード」&「.”（半角コロン）」&「パスワード」 ・例：00051192011071:af091rhj45o7 「当方センター確認コード」は企業側のセンター確認コード。 ・型/桁数：N/14桁 ・形式：・センターコード（N/10桁） ・CPU/端末コード（N/4桁） ・MAX桁埋め：なし 「パスワード」は企業と金融機関との間で取り決めた、通信制御でセキュリティチェックに使用されるパ スワード。 ・型/桁数：X/12桁 ・MAX桁埋め：末尾半角スペース	[1..1]	Max35Text	string	1	35
9	<SchmeNm>	通信制御概要情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-
10	<Prtry>	通信制御情報	[1..1]	-	35	35	固定値 “CommunicationControl ValidationCode” を設定する。	[1..1]	Max35Text	string	1	35
11	<Othr>	ファイル制御詳細情報	[1..1]	±	-	-		[0..n]	±	-	-	-
12	<Id>	ファイルアクセスキー	[1..1]	-	12	12	ファイルアクセスキーを設定する。 「ファイルアクセスキー」は該当ファイルの送受者が正当かどうかを確認するキー。内容は企業・ 金融機関間で内密に決定される。 ・型/桁数：X/12桁 ・MAX桁埋め：末尾半角スペース	[1..1]	Max35Text	string	1	35
13	<SchmeNm>	ファイル制御概要情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-
14	<Prtry>	ファイル制御情報	[1..1]	-	26	26	固定値 “FileControl ValidationCode” を設定する。	[1..1]	Max35Text	string	1	35
15	<To>	相手方情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
16	<FIId>	相手方金融機関情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
17	<FinInstnId>	相手方金融機関詳細情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
18	<Othr>	相手方識別子情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-
19	<Id>	相手方識別子	[1..1]	-	19	19	以下を設定する。 「仕向銀行番号」&「.”（半角コロン）」&「相手センター確認コード」 ・例：9901:89404702582307 「仕向銀行番号」は仕向金融機関の金融機関番号。 業態組織の場合は、国内送金指図（XMLファイル）の作成範囲に該当する業態センタ等のコードを設定 する。 ・型/桁数：N/4桁 ・形式：・センターコード（N/10桁） ・CPU/端末コード（N/4桁） ・MAX桁埋め：なし 「相手センター確認コード」は仕向金融機関のセンター確認コード。 ・型/桁数：N/14桁 ・形式：・センターコード（N/10桁） ・CPU/端末コード（N/4桁） ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35

データ項目				本システムにおける定義						ISO20022定義（参考情報）				
項番	XMLタグ			論理名	繰返	項目属性 土はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		設定内容	繰返	Represent/Type 土はタグのみ	データ型	桁数	
							MIN	MAX					MIN	MAX
20			<Issr>	相手方接続情報	[1..1]	-	18	27	以下を設定する。 「接続先IPアドレス」 & 「:」（半角コロン） & 「接続先電話番号」 ・例：10.168.94.1:0355559999 「接続先IPアドレス」は仕向金融機関の接続先IPアドレス。 ・型/桁数：C/7～15桁 ・形式：“ZZ9.ZZ9.ZZ9.ZZ9” （ピリオド区切） ・例：10.168.94.1 ・MAX桁埋め：なし 「接続先電話番号」は仕向金融機関の接続先電話番号。 ・型/桁数：N/10～11桁 ・形式：ハイフンなし ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max35Text	string	1	35
21	<BizMsgIdr>			ファイル名補助情報（オプション）	[1..1]	-	34	34	ファイル名補助情報（オプション）を設定する。 「ファイル名補助情報（オプション）」はファイル名とペアで使用され、「ファイル名」をより細分化する時に用いる。使用の有無は企業・銀行間で決定する。 ・型/桁数：X/34桁 ・形式：・アクセスID（X/4桁） ・補助情報欄（X/30桁） ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
22	<MsgDefIdr>			メッセージID	[1..1]	-	15	15	本インターフェースがどの業務に対するBAHであるかを表す値を設定する。 <総合振込依頼ファイルの場合> “pain.001.001.03”を設定する。 <振込入金通知依頼ファイルの場合> “cant.054.001.02”を設定する。 <入出金取引明細依頼ファイルの場合> “cant.052.001.02”を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35

データ項目		本システムにおける定義						ISO20022定義（参考情報）				
項番	XMLタグ	論理名	繰返	項目属性 ±はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		設定内容	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数	
					MIN	MAX					MIN	MAX
23	<BizSvc>	制御情報	[1..1]	-	19	22	以下を設定する。 「モード」 & 「:」（半角コロン） & 「ファイル名」 & 「:」（半角コロン） & 「文字コード」 & 「:」（半角コロン） & 「接続形態区分」 & 「:」（半角コロン） & 「再送有無」 ・例：PUT:502001010120:0:1:1 「モード」はファイル伝送の方向を表す区分。 「TST」を設定した場合、本システムは折り返しテストモードでの実行となる。 ・型/桁数：C/3桁 ・値候補： ・ “PUT”（連絡） ・ “GET”（照会） ・ “TST”（試験） 「ファイル名」は伝送するファイル名。 ・型/桁数：C/12桁 ・形式： ・ 産業別コード（C/4桁） ・ データコード（C/4桁） ・ サイクル番号（C/2桁） ・ ファイル名補助情報ID（C/1桁） ・ ダミー（C/1桁） ・ MAX桁埋め：なし 「文字コード」はXMLファイルを金融機関への依頼ファイル（固定長）に変換する際の文字コードを表す区分。 金融機関から通知された場合のみ設定する。 それ以外の場合は設定不要。 ・型/桁数：N/1桁 ・値候補： ・ “0”（JIS8） ・ “1”（EBCDIC） ・ MAX桁埋め：なし 「接続形態区分」はTTC情報の1バイト目を表す。 金融機関から通知された場合のみ設定する。 それ以外の場合は設定不要。 ・型/桁数：N/1桁 ・値候補： ・ “0”（汎用コンピュータ） ・ “1”（パーソナルコンピュータ） ・ MAX桁埋め：なし 「再送有無」は金融機関への再送依頼であるかを指定する区分。 振込入金通知および出入金取引明細の場合に設定する。 再送依頼の場合は “1” を設定し、再送依頼でない場合は設定不要。 ・型/桁数：N/1桁 ・ MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max35Text	string	1	35
24	<CreDt>	通信年月日時分秒	[1..1]	-	20	24	XMLファイルの作成日時を設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ” または “YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sssZ” ・例：2017-03-06T09:05:01.045Z ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	ISONormalisedDate Time	dateTime[".*Z"]	20	24

(2) 【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット
---------------	-------------------------------

① 説明

・企業から本システムへ「総合振込依頼」の振込情報を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

データ項目		本システムにおける定義						ISO20022定義 (参考情報)				
項番	XMLタグ	論理名	繰返	項目属性 ±はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		設定内容	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数	
					MIN	MAX					MIN	MAX
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-		-	-	-	-	-
2	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:pain.001.001.03">	XMLドキュメントルート	[1..1]	±	-	-		-	±	-	-	-
3	<CstmrCdtTrfInitn>	総合振込依頼ルート	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
4	<GrpHdr>	グループヘッダー情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	-	1	35	企業が採番するXMLメッセージ単位の識別番号を設定する。 ・形式：企業側で決定 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	-	19	23	XMLファイルの作成日時を設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss” または “YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sss” ・例：2017-03-06T09:05:01.045 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	ISODateTime	DateTime	19	23
7	<NbOfTxs>	支払情報数	[1..1]	N属性	1	15	「支払情報」の繰り返し数を設定する。 ・形式：カンマなし ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15
8	<InitgPty>	開始集団	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
9	<PmtInf>	支払情報	[1..n]	±	-	-		[1..n]	±	-	-	-
10	<PmtInfId>	支払情報ID	[1..1]	-	1	35	XMLメッセージの範囲内で、仕向明細を特定するために企業が採番するユニークな識別番号を設定する。 ・形式：企業側で決定 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
11	<PmtMtd>	支払方法	[1..1]	-	3	3	固定値“TRF”を設定する。	[1..1]	PaymentMethod3Code	string	3	3
12	<NbOfTxs>	合計件数	[1..1]	N属性	1	6	全銀（トレーラ）における「合計件数」を設定する。 ・形式：カンマなし ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15
13	<CtrlSum>	合計金額	[1..1]	N属性	1	12	全銀（トレーラ）における「合計金額」を設定する。 ・形式：カンマなし ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1	18
14	<PmtTpInf>	支払種別情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-
15	<CsigPurp>	種別情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-
16	<Cd>	種別コード	[1..1]	-	4	4	固定値“OTHR”を設定する。	[1..1]	ExternalCategoryPurposeCode	string	1	4
17	<ReqExctnDt>	取組日	[1..1]	-	10	10	全銀（ヘッダー）における「取組日」を設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	ISODate	Date	10	10
18	<Dptr>	振込依頼人情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
19	<Id>	振込依頼人識別情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-
20	<OrgId>	振込依頼人組織識別情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-
21	<Othr>	振込依頼人組織識別詳細情報	[1..1]	±	-	-		[0..n]	±	-	-	-
22	<Id>	振込依頼人コード（取引企業コード）	[1..1]	N属性	10	10	全銀（ヘッダー）における「振込依頼人コード（取引企業コード）」を設定する。 ・MAX桁埋め：先頭“0”	[1..1]	Max35Text	string	1	35
23	<SchmeNm>	振込依頼人概要情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-
24	<Cd>	振込依頼人概要コード	[1..1]	-	4	4	固定値“BANK”を設定する。	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4
25	<Othr>	振込依頼人法人番号（法人マイナナンバー）情報	[0..1]	±	-	-	「振込依頼人法人番号（法人マイナナンバー）」を未設定とする場合、項番25<Othr>から項番28<Cd>のタグを設定しない。	[0..n]	±	-	-	-

データ項目				本システムにおける定義						ISO20022定義 (参考情報)			
項番	XMLタグ			論理名	繰返 項目属性 ±はタグのみ ～はISO20022準拠	桁数 MIN MAX	設定内容			繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX
26			<Id>	振込依頼人法人番号 (法人 マイナナンバー)	[1..1] N属性	13 13	振込依頼人企業の法人番号 (法人マイナナンバー) を設定する。 ・MAX桁埋め: なし			[1..1]	Max36Text	string	1 35
27			<SchmeNm>	振込依頼人法人番号 (法人 マイナナンバー) 概要情報	[1..1] ±	- -				[0..1]	±	-	- -
28			<Cd>	振込依頼人法人番号 (法人 マイナナンバー) 概要コード	[1..1] -	4 4	固定値 "TXID" を設定する。			[1..1]	ExternalOrganisat ionIdentification Code	string	1 4
29			<DtrAcct>	振込依頼人口座情報	[1..1] ±	- -				[1..1]	±	-	- -
30			<Id>	振込依頼人口座識別情報	[1..1] ±	- -				[1..1]	±	-	- -
31			<Othr>	振込依頼人口座識別詳細情 報	[1..1] ±	- -				[1..1]	±	-	- -
32			<Id>	振込依頼人口座番号	[1..1] N属性 または ALLスペース	7 7	全銀 (ヘッダー) における「口座番号 (依頼人)」を設定する。 省略時はALLスペースとする。 ・MAX桁埋め: 先頭 "0"			[1..1]	Max34Text	string	1 34
33			<Tp>	振込依頼人預金種目情報	[0..1] ±	- -	「振込依頼人預金種目」を未設定とする場合、項番33<Tp>から項番34<Prtry>のタグを設定しない。			[0..1]	±	-	- -
34			<Prtry>	振込依頼人預金種目	[1..1] N属性	1 1	全銀 (ヘッダー) における「預金種目 (依頼人)」を設定する。 下記の候補値以外も、数字1桁ならば全て指定可。 ・候補値: ・ "1" (普通) ・ "2" (当座) ・ "9" (その他) ・MAX桁埋め: なし			[1..1]	Max36Text	string	1 35
35			<DtrAcct>	仕向金融機関情報	[1..1] ±	- -				[1..1]	±	-	- -
36			<FinInstnId>	仕向金融機関識別情報	[1..1] ±	- -				[1..1]	±	-	- -
37			<ClrSysMmbId>	仕向決済システム識別情報	[1..1] ±	- -				[0..1]	±	-	- -
38			<ClrSysId>	仕向決済システム識別詳細 情報	[1..1] ±	- -				[0..1]	±	-	- -
39			<Cd>	仕向決済システム識別コード	[1..1] -	5 5	固定値 "JPGN" を設定する。			[1..1]	ExternalClearingS ystemIdentificati onCode	string	1 5
40			<MmbId>	仕向銀行番号	[1..1] N属性	4 4	全銀 (ヘッダー) における「仕向銀行番号」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし			[1..1]	Max36Text	string	1 35
41			<Nm>	仕向銀行名	[0..1] C属性	1 15	全銀 (ヘッダー) における「仕向銀行名」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし			[0..1]	Max140Text	string	1 140
42			<BrnchId>	仕向支店情報	[1..1] ±	- -				[0..1]	±	-	- -
43			<Id>	仕向支店番号	[1..1] N属性	3 3	全銀 (ヘッダー) における「仕向支店番号」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし			[0..1]	Max36Text	string	1 35
44			<Nm>	仕向支店名	[0..1] 店舗名称属性	1 15	全銀 (ヘッダー) における「仕向支店名」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし			[0..1]	Max140Text	string	1 140
45			<UltmtDtr>	振込依頼人情報	[1..1] ±	- -				[0..1]	±	-	- -
46			<Nm>	振込依頼人名	[1..1] 有称属性	1 40	全銀 (ヘッダー) における「振込依頼人名」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし			[0..1]	Max140Text	string	1 140
47			<CdtTrfTxInf>	取引明細	[1..n] ±	- -				[1..n]	±	-	- -
48			<PstId>	支払種別情報	[1..1] ±	- -				[1..1]	±	-	- -
49			<EndToEndId>	取引明細識別番号 (振込依 頼人発行)	[1..1] -	1 35	「取引明細」タグ単位で受取人企業への連携するために振込依頼人企業が採番するユニークな識別番号を 設定する。 ・形式: 企業側で決定 ・MAX桁埋め: なし			[1..1]	Max36Text	string	1 35
50			<Agt>	振込金額情報	[1..1] ±	- -				[1..1]	±	-	- -
51			<InstAmt Ccy="JPY">	振込金額	[1..1] N属性	1 10	全銀 (データ) における「振込金額」を設定する。 「取引明細」タグ単位の振込金額を表す。 ・形式: カンマなし ・MAX桁埋め: なし			[1..1]	ActiveOrHistoricC urrencyAndAmount	decimal(18, 5)	1 18
52			<CdtAcct>	振仕向金融機関情報	[1..1] ±	- -				[0..1]	±	-	- -
53			<FinInstnId>	振仕向金融機関識別情報	[1..1] ±	- -				[1..1]	±	-	- -
54			<ClrSysMmbId>	振仕向決済システム識別情 報	[1..1] ±	- -				[0..1]	±	-	- -
55			<MmbId>	振仕向銀行番号	[1..1] N属性	4 4	全銀 (データ) における「振仕向銀行番号」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし			[1..1]	Max36Text	string	1 35

データ項目				本システムにおける定義								ISO20022定義（参考情報）			
項番	XMLタグ			論理名	繰返 土はタグのみ →はISO20022準拠	項目属性 土はタグのみ →はISO20022準拠	桁数		設定内容	繰返	Represent/Type 土はタグのみ	データ型	桁数		
							MIN	MAX					MIN	MAX	
56			<Nm>	振仕向銀行名	[0..1]	C属性	1	15	全額（データ）における「振仕向銀行名」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140	
57			<Othr>	手形交換所番号情報	[0..1]	土	-	-	「手形交換所番号」を未設定とする場合、項番57<Othr>から項番58<Id>のタグを設定しない。	[0..1]	土	-	-	-	
58			<Id>	手形交換所番号	[1..1]	N属性	4	4	全額（データ）における「手形交換所番号」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
59			<BrnchId>	振仕向支店情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-	
60			<Id>	振仕向支店番号	[1..1]	N属性	3	3	全額（データ）における「振仕向支店番号」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max35Text	string	1	35	
61			<Nm>	振仕向支店名	[0..1]	店舗名称属性	1	15	全額（データ）における「振仕向支店名」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140	
62			<Cdt>	受取人情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-	
63			<Nm>	受取人名	[1..1]	名称属性	1	30	全額（データ）における「受取人名」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140	
64			<Id>	受取人識別情報	[0..1]	土	-	-	「受取人法人番号（法人マイナンバー）情報」、「顧客コード1情報」、および「顧客コード2情報」を未設定とする場合、項番64<Id>から項番77<Prtry>のタグを設定しない。	[0..1]	土	-	-	-	
65			<OrgId>	受取人組織情報	[1..1]	土	-	-		[1..1]	土	-	-	-	
66			<Othr>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）情報	[0..1]	土	-	-	「受取人法人番号（法人マイナンバー）」を未設定とする場合、項番66<Othr>から項番69<Cd>のタグを設定しない。	[0..n]	土	-	-	-	
67			<Id>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）	[1..1]	N属性	13	13	受取人企業の法人番号（法人マイナンバー）を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
68			<SchmeNm>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）概要情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-	
69			<Cd>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）概要コード	[1..1]	-	4	4	固定値“TXID”を設定する。 「受取人法人番号（法人マイナンバー）情報」タグ以下が受取人法人番号（法人マイナンバー）情報であることを識別するための値。	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	
70			<Othr>	顧客コード1情報	[0..1]	土	-	-	「顧客コード1」を未設定とする場合、項番70<Othr>から項番73<Prtry>のタグを設定しない。	[0..n]	土	-	-	-	
71			<Id>	顧客コード1	[1..1]	EDI属性	1	10	全額（データ）における「顧客コード1」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
72			<SchmeNm>	顧客コード1概要情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-	
73			<Prtry>	顧客コード1概要名	[1..1]	-	14	14	固定値“Customer Code1”を設定する。 「顧客コード1情報」タグ以下が顧客コード1情報であることを識別するための値。	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
74			<Othr>	顧客コード2情報	[0..1]	土	-	-	「顧客コード2」を未設定とする場合、項番74<Othr>から項番77<Prtry>のタグを設定しない。	[0..n]	土	-	-	-	
75			<Id>	顧客コード2	[1..1]	EDI属性	1	10	全額（データ）における「顧客コード2」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
76			<SchmeNm>	顧客コード2概要情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-	
77			<Prtry>	顧客コード2概要名	[1..1]	-	14	14	固定値“Customer Code2”を設定する。 「顧客コード2情報」タグ以下が顧客コード2情報であることを識別するための値。	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
78			<Cdt>	受取人口座情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-	
79			<Id>	受取人口座識別情報	[1..1]	土	-	-		[1..1]	土	-	-	-	
80			<Othr>	受取人口座識別詳細情報	[1..1]	土	-	-		[1..1]	土	-	-	-	
81			<Id>	受取人口座番号	[1..1]	N属性	7	7	全額（データ）における「口座番号」を設定する。 ・MAX桁埋め：先頭“0”	[1..1]	Max34Text	string	1	34	
82			<Tp>	受取人預金種目情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-	
83			<Prtry>	受取人預金種目	[1..1]	N属性	1	1	全額（データ）における「預金種目」を設定する。 下記の候補値以外も、数字1桁ならば全て指定可。 ・候補値：・“1”（普通） ・“2”（当座） ・“4”（貯蓄） ・“9”（その他） ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	

データ項目				本システムにおける定義						ISO20022定義（参考情報）				
項番	XMLタグ			論理名	繰返	項目属性 土はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		設定内容	繰返	Represent/Type 土はタグのみ	データ型	桁数	
							MIN	MAX					MIN	MAX
84			<InstrForCdtrAgt>	振込指定区分情報	[0..1]	土	-	-	「振込指定区分」を未設定とする場合、項番84<InstrForCdtrAgt>から項番86<InstrInf>のタグを設定しない。	[0..n]	土	-	-	-
85			<InstrInf>	振込指定区分	[0..1]	N属性	1	1	全銀（データ）における「振込指定区分」を設定する。 下記の候補値以外も、数字1桁ならば全て指定可。 ・候補値：・“7”（テレ振込） ・“8”（文書振込） ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140
86			<InstrForDbtrAgt>	識別表示および仕向金融機関指示情報	[0..1]	C属性	27	27	以下を設定する。 「識別表示」&「:」（半角コロン）&「ダミー（データ）」&「:」（半角コロン）&「ダミー（ヘッダー）」 ・例：Y:dummy01:dummy0123456789du 「識別表示」は全銀（データ）における「識別表示」を設定する。 ・型/桁数：C/1桁 ・候補値：・“Y” ・“Y”以外の値（半角スペース可） ・MAX桁埋め：なし 「ダミー（データ）」は全銀（データ）における「ダミー」を設定する。 ・型/桁数：C/7桁 ・MAX桁埋め：末尾半角スペース 「ダミー（ヘッダー）」は全銀（ヘッダー）における「ダミー」を設定する。 1明細目で設定された値のみが本システムで認識される。 ・型/桁数：C/17桁 ・MAX桁埋め：末尾半角スペース	[0..1]	Max140Text	string	1	140
87			<Purp>	新規コード情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
88			<Prtry>	新規コード	[1..1]	N属性	1	1	全銀（データ）における「新規コード」を設定する。 下記の候補値以外も、数字1桁ならば全て指定可。 ・候補値：・“0”（その他） ・“1”（第1回振込分） ・“2”（変更分（被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号）） ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
89			<RatInf>	商流情報	[0..1]	土	-	-	「金融E D I 情報」を未設定とする場合、項番89<RatInf>から項番90<Ustrd>のタグを設定しない。	[0..1]	土	-	-	-
90			<Ustrd>	金融E D I 情報	[0..n]	-	1	140	取引明細に関連した金融E D I 情報を設定する。 ・形式：base64エンコード有りの場合、MIMEヘッダーの付加が必須。 ・MAX桁埋め：なし	[0..n]	Max140Text	string	1	140

4.1.2 企業が本システムから受信するレコード・フォーマット

企業が本システムから受信するレコード・フォーマット（総合振込結果制御情報レコード・フォーマット、総合振込結果明細レコード・フォーマット、振込入金通知結果制御情報レコード・フォーマット、振込入金通知結果明細レコード・フォーマット、入出金取引明細結果制御情報レコード・フォーマット、入出金取引明細結果明細レコード・フォーマット）の各項目は表3に従って設定する。

ISO20022 で規定する必須タグおよび本システムで定義するタグについてのみ記載する。

表3 本システムから受信するレコード・フォーマットの設定内容

項番	項目		説明
1	XMLタグ		英数字記号で記載する物理的なXMLのタグの名称を示す。
2	論理名		日本語で記載する論理的なXMLのタグの名称を示す。 各タグについての理解を補助するためのものである。
3	ISO20022定義(参考情報)		参考情報として、ISO20022で規定されたフォーマットを示す。
4	繰返		XMLタグの出現頻度を示す。以下に例を示す。 [0..1] : XMLタグがない、または1つであることを示す。 [0..n] : XMLタグがない、または2つ以上であることを示す。 [1..1] : XMLタグが必ず1つであることを示す。 [1..n] : XMLタグが1つ以上であることを示す。
5		Represent/Type	ISO20022で規定されているRepresent/Typeを示す。 タグのみの場合は“±”である。
6		データ型	ISO20022で規定されているデータ型を示す。 タグのみの場合は“-”である。
7		桁数	ISO20022で規定されているXMLタグ内に設定する値の最小桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
8		MAX	ISO20022で規定されているXMLタグ内に設定する値の最大桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
9	本システムにおける定義		各XMLタグの本システムにおける定義であり、ISO20022定義をベースとして、固定長ファイルへの変換を考慮した定義を示す。
10	繰返		ISO20022の規定に準拠するため使用しない。
11	項目属性		ISO20022の規定に準拠するため使用しない。
12	桁数	MIN	ISO20022の規定に準拠するため使用しない。
13		MAX	ISO20022の規定に準拠するため使用しない。
14	設定内容		本システムにおける各XMLタグへの設定内容を示す。 “全銀（ヘッダー）”、“全銀（データ）”、および“全銀（トレーラ）”は、全銀協定制定レコード・フォーマット（固定長）におけるヘッダーレコード、データレコード、およびトレーラレコードを示す。 設定元の固定長ファイルの項目が省略されている場合、かつXMLタグが省略可能の場合はタグを設定しない。 設定元の固定長ファイルの項目が省略されている場合、かつXMLタグが省略不可の場合は“データ型”に応じた初期値（半角スペース1桁、または“0”）を設定する。 複数項目を連結して設定するXMLタグについては、各項目の型と桁数を欄内の“型/桁数”に記載する。 “型”は、【X:ヘキサ表記】、【C:キャラクタ】、【N:数字】で記載する。 「【camt.052】入出金取引明細結果明細レコード・フォーマット」においては、口座の種類によりXMLタグへの設定内容が異なる。 口座の種類は全銀（ヘッダー）の預金種目により判定するが、設定内容欄の条件の記載は下記のとおり簡略化して記載する。 ＜全銀（ヘッダー）の預金種目が“1”（普通預金）、または“2”（当座預金）、または“4”（貯蓄預金）の場合＞ 設定内容欄の条件は＜普通口座の場合＞と記載する。 ＜全銀（ヘッダー）の預金種目が“5”（通知預金）、“6”（定期預金）、“7”（積立定期預金）の場合＞ 設定内容欄の条件は＜定期性口座の場合＞と記載する。

(1) 【BAH】総合振込結果制御情報、振込入金通知結果制御情報、入出金取引明細結果制御情報レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【BAH】総合振込結果制御情報レコード・フォーマット 【BAH】振込入金通知結果制御情報レコード・フォーマット 【BAH】入出金取引明細結果制御情報レコード・フォーマット
---------------	---

① 説明

- ・本システムから企業への「総合振込結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
- ・本システムから企業への「振込入金通知結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
- ・本システムから企業への「入出金取引明細結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

データ項目		ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ	論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容	
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	<AppHdr xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:hea d.001.001.01">	ビジネスアプリケーション ヘッダルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	<Fr>	当方情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	<FIId>	当方金融機関情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	<FIInstId>	当方金融機関詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	<Tp>	相手方情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	<OrgId>	相手方組織情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	<BizMsgIdr>	ビジネスメッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	依頼を一意に特定できる受付番号を設定する。 ・形式： "YYYYMMDDhhmmssnnnnnn" ・YYYYMMDD…日付 ・hhmmss…時刻 ・nnnnnn…番号
9	<MsgDefIdr>	メッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	本インターフェースがどの業務に対するBAHであるかを表す値を設定する。 <総合振込結果ファイルの場合> "psin.002.001.03"を設定する。 <振込入金通知結果ファイルの場合> "cant.054.001.02"を設定する。 <入出金取引明細結果ファイルの場合> "cant.052.001.02"を設定する。
10	<BizSvc>	処理結果コード	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	依頼に対する処理結果コードを設定する。 設定値の詳細は「6.2 コード一覧」を参照のこと。
11	<CreDt>	通信年月日時分秒	[1..1]	ISONormalisedDate Time	dateTime[".*Z"]	20	24	-	-	-	-	-	XMLファイルの作成日時を設定する。 ・形式： "YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ" または "YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sssZ" ・例： 2017-03-06T09:05:01.045Z
12	<Rltd>	依頼情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	本タグ以下は、「【BAH】総合振込依頼制御情報受信IF(FD_RG_R01)」、「【BAH】振込入金通知依頼制御情報受信IF(FD_RG_R03)」、または「【BAH】入出金取引明細依頼制御情報受信IF(FD_RG_R04)」で連携された各項目を設定元とする。 依頼ファイルのBAHについて、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックが正常に完了する前にエラーが発生した場合、項番12<Rltd>から項番28<CreDt>のタグを設定しない。
13	<OrgId>	当方情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	<Id>	当方組織情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	<Id>	当方組織詳細情報 (依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	<OrgId>	当方組織子情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	<Othr>	当方識別子詳細情報 (依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	<Id>	当方識別子 (依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「当方識別子」内の「当方センター確認コード」を設定する。
19	<Tp>	相手方情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	<FIId>	相手方金融機関情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	<FIInstId>	相手方金融機関詳細情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	<Othr>	相手方識別子情報 (依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	<Id>	相手方識別子 (依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「相手方識別子」を設定する。

データ項目				ISO20022定義								本システムにおける定義							
項番	XMLタグ				論理名	繰返	Represent/Type 土はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 土はタグのみ	桁数		設定内容				
								MIN	MAX			MIN	MAX						
24				<Issr>	相手方接続情報	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「相手方接続情報」を設定する。				
25				<BizMsgIdr>	ファイル名補助情報（オプション）（依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「ファイル名補助情報（オプション）」を設定する。				
26				<MsgDefIdr>	メッセージID（依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「メッセージID」を設定する。				
27				<BizSvc>	制御情報（依頼）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「制御情報」を設定する。				
28				<CreDt>	通信年月日時分秒（依頼）	[1..1]	ISONormalisedDate Time	dateTime[".*Z"]	20	24	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「通信年月日時分秒」を設定する。				

(2) 【pain.002】総合振込結果明細レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【pain.002】総合振込結果明細レコード・フォーマット
---------------	-------------------------------

① 説明

・本システムから企業への「総合振込結果」を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

データ項目		ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ	論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容	
						MIN	MAX			MIN	MAX		
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	<Document xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">	XMLドキュメントルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	<CstmrPmtStsRpt>	総合振込結果レポート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	<GrpHdr>	グループヘッダー情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	企業が送信した取引依頼を一意に特定できる受付番号を設定する。 ・形式: "YYYYMMDDhhmmssnnnnnn" ・YYYYMMDD…日付 ・hhmmss…時刻 ・nnnnnn…番号	
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19	23	-	-	-	-	XMLファイルの作成日時を設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:09:05	
7	<OrgnlGrpInfAndSts>	グループ情報（総合振込依頼）および結果情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	<OrgnlMsgId>	グループメッセージID（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「グループメッセージID」を設定する。 依頼ファイルのpain.001について、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックが正常に完了する前にエラーが発生した場合、半角スペース1桁を設定する。	
9	<OrgnlMsgNmId>	グループメッセージ名称ID（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	固定値 "pain.001" を設定する。	
10	<OrgnlCreDtTm>	XMLファイル作成日時（総合振込依頼）	[0..1]	ISODateTime	dateTime	19	23	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「XMLファイル作成日時」を設定する。 依頼ファイルのpain.001について、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックが正常に完了する前にエラーが発生した場合、本タグは設定しない。	
11	<OrgnlNbOfTx>	支払情報数（総合振込依頼）	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「取引数（グループ単位）」を設定する。 依頼ファイルのpain.001について、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックが正常に完了する前にエラーが発生した場合、本タグは設定しない。	
12	<StsRsnInf>	全体処理結果情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	<Rsn>	全体処理結果原因	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
14	<Prtry>	全体処理結果	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	総合振込依頼に対する処理結果コードを設定する。 設定値の詳細は「6.2 コード一覧」を参照のこと。	
15	<OrgnlPmtInfAndSts>	支払情報（総合振込依頼）および結果情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのpain.001の「支払情報」の繰り返し回数分、本タグを繰り返す。 なお、依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグの繰り返し回数は1とし、チェック結果およびエラー内容のみを設定する。 また、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックを実施する前にエラーが発生した場合、項番15<OrgnlPmtInfAndSts>から項番100<Prtry>のタグを設定しない。	
16	<OrgnlPmtInfId>	支払情報ID（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「支払情報ID」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、半角スペース1桁を設定する。	
17	<OrgnlNbOfTx>	合計件数（総合振込依頼）	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「合計件数」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグは設定しない。	

データ項目			ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ		論理名	繰返	Represent/type 主はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 主はタグのみ	桁数		設定内容	
18			<OrgnlCtrlSum>	合計金額（総合振込依頼）	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1	18	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「合計金額」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグは設定しない。
19			<TxInfAndSts>	取引明細（総合振込依頼） および結果情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのpain.001の「取引明細」の繰り返し回数分、本タグを繰り返す。 なお、依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグの繰り返し回数は1とし、チェック結果 およびエラー内容のみを設定する。
20			<OrgnlInstrId>	E D I キー情報	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	本システムより払い出したE D I キー情報を設定する。 払い出されていない場合はタグ省略。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグは設定しない。
21			<OrgnlEndToEndId>	取引明細識別番号（振込依 頼人発行）（総合振込依 頼）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「取引明細識別番号（振込依頼人発 行）」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグは設定しない。
22			<StsRsnInf>	取引明細別処理結果情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
23			<Rsn>	取引明細別処理結果原因	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
24			<Prtry>	取引明細別処理結果	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	pain.001のチェック結果を表す。 <正常の場合> "0"を設定する。 <エラーの場合> "1"を設定する。
25			<AddtlInf>	個別表示および仕向金融機 関指示情報（総合振込依 頼）	[0..n]	Max105Text	string	1	105	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「個別表示および仕向金融機関指示 情報」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、エラー内容が発生したエラー数分繰り返し設定する。
26			<OrgnlTxRef>	取引明細情報（総合振込依 頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、項番26<OrgnlTxRef>から項番 100<Prtry>のタグを設定しない。
27			<Amt>	振込金額情報（総合振込依 頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
28			<InstAmt Ccy="JPY">	振込金額（総合振込依頼）	[1..1]	ActiveOrHistoricC urrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込金額」を設定する。
29			<ReqdExctnDt>	取組日（総合振込依頼）	[0..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「取組日」を設定する。
30			<PmtTpInf>	支払種別情報（総合振込依 頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
31			<SvlLvl>	新規コード情報（総合振込 依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
32			<Prtry>	新規コード（総合振込依 頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「新規コード」を設定する。
33			<LclInstr>	振込指定区分情報（総合振 込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込指定区分」が設定されてい ない場合、項番33<LclInstr>から項番34<Prtry>のタグを設定しない。
34			<Prtry>	振込指定区分（総合振込依 頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込指定区分」を設定する。
35			<CtgyPurp>	種別情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
36			<Cd>	種別コード（総合振込依 頼）	[1..1]	ExternalCategoryP urposelCode	string	1	4	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「種別コード」を設定する。
37			<PmtMtd>	支払方法（総合振込依頼）	[0..1]	PaymentMethod4Cod e	string	2	3	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「支払方法」を設定する。
38			<RntInf>	簡流情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「金融E D I 情報」が設定されてい ない場合、項番38<RntInf>から項番39<Ustrd>のタグを設定しない。

データ項目			ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ		論理名	繰返	Represent/Type またはタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 またはタグのみ	桁数		設定内容	
39			<Ustrd>	金融E D I 情報 (総合振込依頼)	[0..n]	Max140Text	string	1 140	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「金融E D I 情報」を設定する。	
40			<UltmtDbtr>	振込依頼人情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
41			<Nm>	振込依頼人名 (総合振込依頼)	[0..1]	Max140Text	string	1 140	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人名」を設定する。	
42			<Dbtr>	振込依頼人情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
43			<Id>	振込依頼人識別情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
44			<OrgId>	振込依頼人組織識別 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-		
45			<Othr>	振込依頼人組織識別詳細情報 (総合振込依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-		
46			<Id>	振込依頼人コード (取引企業コード) (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人コード (取引企業コード)」を設定する。	
47			<SchmeNm>	振込依頼人概要情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
48			<Cd>	振込依頼人概要コード (総合振込依頼)	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1 4	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人概要コード」を設定する。	
49			<Othr>	振込依頼人法人番号 (法人マイナナンバー) 情報 (総合振込依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人法人番号 (法人マイナナンバー) 情報」が設定されていない場合、項番49<Othr>から項番52<Cd>のタグを設定しない。	
50			<Id>	振込依頼人法人番号 (法人マイナナンバー) (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人法人番号 (法人マイナナンバー)」を設定する。	
51			<SchmeNm>	振込依頼人法人番号 (法人マイナナンバー) 概要情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
52			<Cd>	振込依頼人法人番号 (法人マイナナンバー) 概要コード (総合振込依頼)	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1 4	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人法人番号 (法人マイナナンバー) 概要コード」を設定する。	
53			<DbtrAcct>	振込依頼人口座情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
54			<Id>	振込依頼人口座識別情報 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-		
55			<Othr>	振込依頼人口座識別詳細情報 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-		
56			<Id>	振込依頼人口座番号 (総合振込依頼)	[1..1]	Max34Text	string	1 34	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人口座番号」を設定する。	
57			<Tp>	振込依頼人預金種目情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人預金種目情報」が設定されていない場合、項番57<Tp>から項番58<Prtry>のタグを設定しない。	
58			<Prtry>	振込依頼人預金種目 (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人預金種目」を設定する。	
59			<DbtrAgt>	仕向金融機関情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
60			<FinInstnId>	仕向金融機関識別情報 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-		
61			<ClrSysMmbId>	仕向決済システム識別情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
62			<ClrSysId>	仕向決済システム識別詳細情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-		
63			<Cd>	仕向決済システム識別コード (総合振込依頼)	[1..1]	ExternalClearingSystemIdentificationCode	string	1 5	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「仕向決済システム識別コード」を設定する。	

データ項目				ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type またはタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 またはタグのみ	桁数		設定内容	
								MIN	MAX			MIN	MAX		
64			<MnblId>	仕向銀行番号（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「仕向銀行番号」を設定する。	
65			<Nm>	仕向銀行名（総合振込依頼）	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「仕向銀行名」を設定する。	
66			<BrnchId>	仕向支店情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
67			<Id>	仕向支店番号（総合振込依頼）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「仕向支店番号」を設定する。	
68			<Nm>	仕向支店名（総合振込依頼）	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「仕向支店名」を設定する。	
69			<CdtrAgt>	被仕向金融機関情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
70			<FinInstnId>	被仕向金融機関識別情報（総合振込依頼）	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
71			<ClrSysMnblId>	被仕向決済システム識別情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
72			<MnblId>	被仕向銀行番号（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「被仕向銀行番号」を設定する。	
73			<Nm>	被仕向銀行名（総合振込依頼）	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「被仕向銀行名」を設定する。	
74			<Othr>	手形交換所番号情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「手形交換所番号情報」が設定されていない場合、項番74<Othr>から項番75<Id>のタグを設定しない。	
75			<Id>	手形交換所番号（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「手形交換所番号」を設定する。	
76			<BrnchId>	被仕向支店情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
77			<Id>	被仕向支店番号（総合振込依頼）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「被仕向支店番号」を設定する。	
78			<Nm>	被仕向支店名（総合振込依頼）	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「被仕向支店名」を設定する。	
79			<Cdtr>	受取人情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
80			<Nm>	受取人名（総合振込依頼）	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人名」を設定する。	
81			<Id>	受取人識別情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人識別情報」が設定されていない場合、項番81<Id>から項番94<Prtry>のタグを設定しない。	
82			<OrgId>	受取人組織情報（総合振込依頼）	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
83			<Othr>	受取人法人番号（法人マイナンバー）情報（総合振込依頼）	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人法人番号（法人マイナンバー）情報」が設定されていない場合、項番83<Othr>から項番86<Cd>のタグを設定しない。	
84			<Id>	受取人法人番号（法人マイナンバー）（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人法人番号（法人マイナンバー）」を設定する。	
85			<SchmeNm>	受取人法人番号（法人マイナンバー）概要情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
86			<Cd>	受取人法人番号（法人マイナンバー）概要コード（総合振込依頼）	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人法人番号（法人マイナンバー）概要コード」を設定する。	
87			<Othr>	顧客コード1情報（総合振込依頼）	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「顧客コード1情報」が設定されていない場合、項番87<Othr>から項番90<Prtry>のタグを設定しない。	
88			<Id>	顧客コード1（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「顧客コード1」を設定する。	

データ項目				ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ				論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容
89					<SchmeNa>	顧客コード1概要情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
90					<Prtry>	顧客コード1概要名（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「顧客コード1スキーマ名」を設定する。
91					<Othr>	顧客コード2情報（総合振込依頼）	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「顧客コード2情報」が設定されていない場合、項番91<Othr>から項番94<Prtry>のタグを設定しない。
92					<Id>	顧客コード2（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「顧客コード2」を設定する。
93					<SchmeNa>	顧客コード2概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
94					<Prtry>	顧客コード2概要名	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「顧客コード2スキーマ名」を設定する。
95					<GdtrAcct>	受取人口座情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
96					<Id>	受取人口座種別情報（総合振込依頼）	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
97					<Othr>	受取人口座種別詳細情報（総合振込依頼）	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
98					<Id>	受取人口座番号（総合振込依頼）	[1..1]	Max34Text	string	1	34	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人口座番号」を設定する。
99					<Tp>	受取人預金種目情報（総合振込依頼）	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
100					<Prtry>	受取人預金種目（総合振込依頼）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人預金種目」を設定する。

(3) 【camt.054】振込入金通知結果明細レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【camt.054】振込入金通知結果明細レコード・フォーマット
---------------	---------------------------------

① 説明

・本システムから企業へ、金融機関からの「振込入金通知結果」を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

データ項目		ISO20022定義							本システムにおける定義						
項番	XMLタグ	論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容					
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-	-	-	-						
2	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:camt.054.001.02">	XMLドキュメントルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-						
3	<BkToCstmrDbtCdtNtfctn>	振込入金通知ルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-						
4	<GrpHdr>	グループヘッダー情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-						
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	企業が送信した取引依頼を一意に特定できる受付番号を設定する。 ・形式: "YYYYMMDDhhmmssnnnnnn" ・YYYYMMDD…日付 ・hhmmss…時刻 ・nnnnnn…番号					
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-	全額（ヘッダー）における「作成日」を設定する。 全額（ヘッダー）は "YYYYMMDD"（和暦）形式のため、"YYYY-MM-DD" 形式に変換後、時刻は "00:00:00" として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00					
7	<Ntfctn>	通知情報	[1..n]	±	-	-	-	-	-						
8	<Id>	通知ID	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	企業へ送信する結果ファイルの範囲内でユニークとなる、「通知情報」単位の識別番号。 ・形式: 数字連番					
9	<CreDtTm>	通知情報作成日時	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-	全額（ヘッダー）における「作成日」を設定する。 全額（ヘッダー）は "YYYYMMDD"（和暦）形式のため、"YYYY-MM-DD" 形式に変換後、時刻は "00:00:00" として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00					
10	<FrDtTm>	勘定日（自）	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-						
11	<FrDtTm>	勘定日（自）	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-	全額（ヘッダー）における「勘定日（自）」を設定する。 全額（ヘッダー）は "YYYYMMDD"（和暦）形式のため、"YYYY-MM-DD" 形式に変換後、時刻は "00:00:00" として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00					
12	<ToDtTm>	勘定日（至）	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-	全額（ヘッダー）における「勘定日（至）」を設定する。 全額（ヘッダー）は "YYYYMMDD"（和暦）形式のため、"YYYY-MM-DD" 形式に変換後、時刻は "00:00:00" として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00					
13	<Acct>	口座情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-						
14	<Id>	口座識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-						
15	<Othr>	口座識別詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-						
16	<Id>	口座番号	[1..1]	Max34Text	string	1 34	-	-	-	全額（ヘッダー）における「口座番号」を設定する。					
17	<Tp>	預金種目情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-						
18	<Prtry>	預金種目	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	全額（ヘッダー）における「預金種目」を設定する。					
19	<Nm>	口座名	[0..1]	Max70Text	string	1 70	-	-	-	全額（ヘッダー）における「口座名」を設定する。					
20	<Ownc>	受取人法人番号（法人マイナンバー）情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF (FD_RG_R02)」で「金融ID1情報」と「受取人法人番号（法人マイナンバー）」のいずれかが設定されていない場合、項番20<Ownc>から項番26<Cd>のタグを設定しない。					
21	<Id>	受取人法人番号（法人マイナンバー）識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-						
22	<OrgId>	受取人法人番号（法人マイナンバー）識別詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-						

データ項目				ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容			
23			<Othr>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-				
24			<Id>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で「金融EID I 情報」および「受取人法人番号 （法人マイナンバー）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細受信 IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人法人番号（法人マイナンバー）」を設定する。			
25			<SchmeNm>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				
26			<Cd>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）概要コード	[1..1]	ExternalOrganisat ionIdentification 1Code	string	1 4	-	-	-	固定値“TXID”を設定する。			
27			<Sver>	金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				
28			<FinInstnId>	金融機関識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-				
29			<ClrSysMmbld>	決済システム識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				
30			<Mmbld>	銀行コード	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	全額（ヘッダー）における「銀行コード」を設定する。			
31			<Nm>	銀行名	[0..1]	Max140Text	string	1 140	-	-	-	全額（ヘッダー）における「銀行名」を設定する。			
32			<BrnchId>	支店情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				
33			<Id>	支店コード	[0..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	全額（ヘッダー）における「支店コード」を設定する。			
34			<Nm>	支店名	[0..1]	Max140Text	string	1 140	-	-	-	全額（ヘッダー）における「支店名」を設定する。			
35			<TxSummary>	総取引情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				
36			<TtlCdtNtries>	振込合計情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				
37			<NbOfNtries>	振込合計件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1 15	-	-	-	全額（トレーラ）における「振込合計件数」を設定する。			
38			<Sum>	振込合計金額	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1 18	-	-	-	全額（トレーラ）における「振込合計金額」を設定する。			
39			<TtlDbtNtries>	取消合計情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				
40			<NbOfNtries>	取消合計件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1 15	-	-	-	全額（トレーラ）における「取消合計件数」を設定する。			
41			<Sum>	取消合計金額	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1 18	-	-	-	全額（トレーラ）における「取消合計金額」を設定する。			
42			<Ntry>	取引情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	全額（データ）が0件の場合、項番42<Ntry>から項番104<AddtlNtryInf>のタグを設定しない。			
43			<Amt Ccy="JPY">	金額	[1..1]	ActiveOrHistoricC urrencyAndAmount	decimal(18,5)	1 18	-	-	-	全額（データ）における「金額」を設定する。			
44			<CdtDbtInd>	取消区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4 4	-	-	-	全額（データ）における「取消区分」を判定し設定する。 <振込明細の場合（「取消区分」が初期値）> “CREDIT”を設定する。 <取消明細の場合（「取消区分」が初期値以外）> “DEBIT”を設定する。			
45			<RvsInd>	取消通知区分	[0..1]	TrueFalseIndicato r	boolean	4 5	-	-	-	明細が取消明細かどうかを判定し設定する。 <「取消区分」が取消明細の場合> “true”を設定する。 <「取消区分」が振込明細の場合> 本タグは設定しない。			
46			<Sts>	取引ステータス	[1..1]	EntryStatus2Code	string	4 4	-	-	-	固定値“BOOK”を設定する。			
47			<BookgDt>	勘定日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				
48			<Dt>	勘定日	[1..1]	ISODate	date	10 10	-	-	-	全額（データ）における「勘定日」を設定する。 全額（データ）は“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09			
49			<ValDt>	振替日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-				

データ項目				ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容			
50				<Dt>	起算日	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	全銀（データ）における「起算日」を設定する。 全銀（データ）は“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09		
51				<BkTxCd>	取引情報種別	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
52				<Dom>	取引情報種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
53				<Cd>	取引情報種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTrans actionDomain1Code	string	1	4	-	-	-	-	固定値“PMNT”を設定する。
54				<Fmly>	取引情報種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
55				<Cd>	取引情報種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTrans actionFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	固定値“RCDT”を設定する。
56				<SubFmlyCd>	取引情報種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTrans actionSubFamily1C ode	string	1	4	-	-	-	-	固定値“DMCT”を設定する。
57				<NtryDtIs>	取引明細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
58				<TxDtIs>	取引詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
59				<Refs>	取引明細照別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	「取引明細照別番号（振込依頼人発行）」および「照会情報」が未設定となる場合、項番59<Refs>から項番63<Ref>のタグを設定しない。
60				<EndToEndId>	取引明細照別番号（振込依頼人発行）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_RG_R02)」で「金融E D I 情報」および「取引明細照別番号（振込依頼人発行）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_RG_R02)」で連携された「取引明細照別番号（振込依頼人発行）」を設定する。
61				<Prtry>	照会情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「照会番号」が未設定の場合、項番61<Prtry>から項番63<Ref>のタグを設定しない。
62				<Tp>	照会情報種別	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	固定値“Reference Number”を設定する。
63				<Ref>	照会番号	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	全銀（データ）における「照会番号」を設定する。
64				<BkTxCd>	取引明細種別	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
65				<Dom>	取引明細種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
66				<Cd>	取引明細種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTrans actionDomain1Code	string	1	4	-	-	-	-	固定値“PMNT”を設定する。
67				<Fmly>	取引明細種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
68				<Cd>	取引明細種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTrans actionFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	固定値“RCDT”を設定する。
69				<SubFmlyCd>	取引明細種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTrans actionSubFamily1C ode	string	1	4	-	-	-	-	固定値“DMCT”を設定する。
70				<RtdPties>	振込依頼人情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
71				<Dbtr>	振込依頼人詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
72				<Nm>	振込依頼人名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	全銀（データ）における「振込依頼人名」を設定する。
73				<Id>	振込依頼人照別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
74				<OrgId>	振込依頼人組織照別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
75				<Othr>	振込依頼人組織照別詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「振込依頼人コード」が未設定の場合、項番75<Othr>から項番78<Cd>のタグを設定しない。
76				<Id>	振込依頼人コード	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	全銀（データ）における「振込依頼人コード」を設定する。
77				<SchmeNm>	振込依頼人概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
78				<Cd>	振込依頼人概要コード	[1..1]	ExternalOrganisat ionIdentification 1Code	string	1	4	-	-	-	-	固定値“BANK”を設定する。
79				<Othr>	振込依頼人法人番号（法人マイナナンバー）情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_RG_R02)」で「金融E D I 情報」と「受取人法人番号（法人マイナナンバー）」のいずれかが設定されていない場合、項番79<Othr>から項番82<Cd>のタグを設定しない。

データ項目										ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ										繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容	
80										<Id>	振込依頼人法人番号（法人 マイナンパー）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で「金融E D I 情報」および「振込依頼人法人番号（法人マイナンパー）」に値が設定されている場合、「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人法人番号（法人マイナンパー）」を設定する。
81										<SchmeNm>	振込依頼人法人番号（法人 マイナンパー） 概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
82										<Cd>	振込依頼人法人番号（法人 マイナンパー） 概要コード	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	-	-	-	固定値 “TXID” を設定する。
83										<RltdAgts>	金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	「仕向金融機関詳細情報」および「仕向支店情報」が未設定となる場合、項番83<RltdAgts>から項番88<Nm>のタグを設定しない。
84										<DbtrAgts>	仕向金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
85										<FinInstnId>	仕向金融機関詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
86										<Nm>	仕向銀行名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	全額（データ）における「仕向銀行名」を設定する。
87										<BrnchId>	仕向支店情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全額（データ）における「仕向店名」が未設定の場合、項番87<BrnchId>から項番88<Nm>のタグを設定しない。
88										<Nm>	仕向支店名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	全額（データ）における「仕向店名」を設定する。
89										<RltdRmtInf>	商流識別情報	[0..10]	±	-	-	-	-	-	-	-	全額（データ）における「E D I 情報」が未設定の場合、項番89<RltdRmtInf>から項番90<RmtId>のタグを設定しない。
90										<RmtId>	E D I 情報	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	全額（データ）における「E D I 情報」を設定する。
91										<RmtInf>	商流情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	該当する金融E D I 情報が本システムに存在しない場合、項番91<RmtInf>から項番92<Ustrd>のタグを設定しない。
92										<Ustrd>	金融E D I 情報	[0..n]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	本システムから取得した「金融E D I 情報」を設定する。
93										<NtryDtls>	うち他店券金額情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
94										<TxDtls>	うち他店券金額取引情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
95										<AmtDtls>	うち他店券金額合計情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
96										<TxAmt>	うち他店券金額情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
97										<Amt Ccy="JPY">	うち他店券金額	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	全額（データ）における「うち他店券金額」を設定する。
98										<BkTxCd>	うち他店券金額情報種別	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
99										<Dom>	うち他店券金額情報種別ド メイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
100										<Cd>	うち他店券金額情報種別ド メインコード	[1..1]	ExternalBankTransactionDomainCode	string	1	4	-	-	-	-	固定値 “PMVT” を設定する。
101										<Fmly>	うち他店券金額情報種別系 列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
102										<Cd>	うち他店券金額情報種別系 列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionFamilyCode	string	1	4	-	-	-	-	固定値 “BCHQ” を設定する。
103										<SubFmlyCd>	うち他店券金額情報種別サブ 系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionSubFamilyCode	string	1	4	-	-	-	-	固定値 “CCHQ” を設定する。
104										<AddtlNtryInf>	仕向金融機関指示情報	[0..1]	Max500Text	string	1	500	-	-	-	-	全額（データ）における「ダミー」を設定する。
105										<AddtlNtfctnInf>	金融機関指示情報	[0..1]	Max500Text	string	1	500	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「ダミー」を設定する。

(4) 【camt.052】入出金取引明細結果明細レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【camt.052】入出金取引明細結果明細レコード・フォーマット
---------------	----------------------------------

① 説明

・本システムから企業へ、金融機関からの「入出金取引明細結果」を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

データ項目		ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ	論理名	繰返	Represent/type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容	
						MIN	MAX			MIN	MAX		
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:camt.052.001.02">	XMLドキュメントルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	<BkToCstmrAcctRpt>	入出金取引明細ルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	<GrpHdr>	グループヘッダー情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	企業が送信した取引依頼を一意に特定できる受付番号を設定する。 ・形式: "YYYYMMDDhhmmssmmmmmm" ・YYYYMMDD…日付 ・hhmmss…時刻 ・mmmmmm…番号
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	-	-	全組（ヘッダー）における「作成日」を設定する。 全組（ヘッダー）では“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は“00:00:00”として設定する。 ・形式: “YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例: 2017-03-06T00:00:00
7	<Rpt>	入出金取引明細情報	[1..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	<Id>	入出金取引明細情報ID	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	企業へ送信する結果ファイルの範囲内でユニークとなる、「入出金取引明細情報」単位の識別番号。 ・形式: 数字連番
9	<CreDtTm>	入出金取引明細情報作成日	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	-	-	全組（ヘッダー）における「作成日」を設定する。 全組（ヘッダー）では“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は“00:00:00”として設定する。 ・形式: “YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例: 2017-03-06T00:00:00
10	<FrToDt>	勘定日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	<FrDtTm>	勘定日（自）	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	-	-	全組（ヘッダー）における「勘定日（自）」を設定する。 全組（ヘッダー）では“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は“00:00:00”として設定する。 ・形式: “YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例: 2017-03-06T00:00:00
12	<ToDtTm>	勘定日（至）	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	-	-	全組（ヘッダー）における「勘定日（至）」を設定する。 全組（ヘッダー）では“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は“00:00:00”として設定する。 ・形式: “YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例: 2017-03-06T00:00:00
13	<Acct>	口座情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	<Id>	口座識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	<Othr>	口座識別詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	<Id>	口座番号	[1..1]	Max34Text	string	1	34	-	-	-	-	-	全組（ヘッダー）における「口座番号」を設定する。
17	<Tp>	預金種目情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	<Prtry>	預金種目および通帳・証書区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	以下を設定する。 ・1桁目: 全組（ヘッダー）における「預金種目」 ・2桁目: 全組（ヘッダー）における「通帳・証書区分」 省略された場合は半角スペース1文字とする。 ・例: <普通預金、通帳の場合> “11”（区切り文字なし）
19	<Na>	口座名	[0..1]	Max70Text	string	1	70	-	-	-	-	-	全組（ヘッダー）における「口座名」を設定する。

データ項目		ISO20022定義							本システムにおける定義						
項番	XMLタグ		論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容		
							MIN	MAX			MIN	MAX			
20		<Ownr>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で「金融E D I 情報」と「受取人法人 番号（法人マイナンバー）」のいずれかが設定されていない場合、項番20<Ownr>から項番26<Cd>のタグ を設定しない。 <定期性口座の場合> 項番20<Ownr>から項番26<Cd>のタグを設定しない。		
21		<Id>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-		
22		<OrgId>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）識別詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-		
23		<Othr>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-		
24		<Id>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で「金融E D I 情報」および「受取人法人番号 （法人マイナンバー）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細受信 IF(FD_KG_R02)」で連携された「受取人法人番号（法人マイナンバー）」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。	
25		<SchmeNm>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
26		<Cd>	受取人法人番号（法人マイ ナンバー）概要コード	[1..1]	ExternalOrganisat ionIdentification ICode	string	1	4	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> “TXID”を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。	
27		<Svcr>	金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
28		<FinInstnId>	金融機関識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
29		<ClrSysMmbId>	決済システム識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30		<MmbId>	銀行コード	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「銀行コード」を設定する。	
31		<Nm>	銀行名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「銀行名」を設定する。	
32		<BrnchId>	支店情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
33		<Id>	支店コード	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「支店コード」を設定する。	
34		<Nm>	支店名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「支店名」を設定する。	
35	<Bal>	取引前残高情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
36	<Tp>	取引前残高種別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
37	<CdOrPrtry>	取引前残高種別コードおよ び概要情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
38	<Cd>	取引前残高種別コード	[1..1]	BalanceType12Code	string	4	4	-	-	-	-	-	固定値“OPAV”を設定する。		
39	<Amt Ccy="JPY">	取引前残高	[1..1]	ActiveOrHistoricC urrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「取引前残高」を設定する。 全額（ヘッダー）における「貸越区分」を省略せず、「取引前残高」を省略した場合は“0”を設定す る。		
40	<CdtDbtInd>	取引前残高貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「貸越区分」を設定する。 <プラスの場合> “CRDT”を設定する。 <マイナスの場合> “DBIT”を設定する。 全額（ヘッダー）における「取引前残高」を省略せず、「貸越区分」を省略した場合、本タグには “CRDT”を設定する。		

データ項目		ISO20022定義										本システムにおける定義			
項番		XMLタグ	論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容		
							MIN	MAX			MIN	MAX			
41		<Dt>	取引前勘定日（自）情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
42		<Dt>	取引前勘定日（自）	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「勘定日（自）」を設定する。 全額（ヘッダー）の“YYMMDD”（和暦）形式を“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09		
43		<Bal>	取引後残高情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-			
44		<Tp>	取引後残高種別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
45		<CdOrPrtry>	取引後残高種別コードおよび 振替情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
46		<Cd>	取引後残高種別コード	[1..1]	BalanceType12Code	string	4	4	-	-	-	-	固定値“CLAV”を設定する。		
47		<Amt Ccy="JPY">	取引後残高	[1..1]	ActiveOrHistoricC urrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	全額（トレーラ）における「取引後残高」を設定する。 全額（トレーラ）における「貸越区分」を省略せず、「取引後残高」を省略した場合は“0”を設定す る。		
48		<CdtDbtInd>	取引後残高貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	全額（トレーラ）における「貸越区分」を設定する。 <プラスの場合> “CRDT”を設定する。 <マイナスの場合> “DBIT”を設定する。 全額（トレーラ）における「取引後残高」を省略せず、「貸越区分」を省略した場合は“CRDT”を設定 する。		
49		<Dt>	取引後勘定日（至）情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
50		<Dt>	取引後勘定日（至）	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	全額（ヘッダー）における「勘定日（至）」を設定する。 全額（ヘッダー）の“YYMMDD”（和暦）形式を“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09		
51		<TxSummry>	総取引情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
52		<TtlNtries>	総入出金情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
53		<NbOfNtries>	データ・レコード件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	-	-	-	全額（トレーラ）における「データ・レコード件数」を設定する。		
54		<TtlCdtNtries>	入金情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
55		<NbOfNtries>	入金件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	-	-	-	全額（トレーラ）における「入金件数」を設定する。		
56		<Sum>	入金額合計	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1	18	-	-	-	-	全額（トレーラ）における「入金額合計」を設定する。		
57		<TtlDbtNtries>	出金情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
58		<NbOfNtries>	出金件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	-	-	-	全額（トレーラ）における「出金件数」を設定する。		
59		<Sum>	出金額合計	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1	18	-	-	-	-	全額（トレーラ）における「出金額合計」を設定する。		
60		<Ntry>	取引情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	全額（データ）が0件の場合、項番60<Ntry>から項番173<AddtlNtryInf>のタグを設定しない。		
61		<Amt Ccy="JPY">	取引金額	[1..1]	ActiveOrHistoricC urrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	全額（データ）における「取引金額」を設定する。		
62		<CdtDbtInd>	入払区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	全額（データ）における「入払区分」を判定し設定する。 <入金の場合> “CRDT”を設定する。 <出金の場合> “DBIT”を設定する。 「取引区分」が“19”（訂正）の場合は判定条件は以下のとおりとなる。 <入金の場合> “DBIT”を設定する。 <出金の場合> “CRDT”を設定する。		

データ項目				ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ			繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容		
							MIN	MAX			MIN	MAX			
63		<RvsInd>	取引訂正通知区分	[0..1]	TrueFalseIndicator	boolean	4	5	-	-	-	-	<全額（データ）における「取引区分」が“19”（訂正）の場合> “true”を設定する。 <全額（データ）における「取引区分」が“19”（訂正）以外の場合> 本タグは設定しない。		
64		<Sts>	取引ステータス	[1..1]	EntryStatus2Code	string	4	4	-	-	-	-	固定値“BOOK”を設定する。		
65		<BookgDt>	勘定日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
66		<Dt>	勘定日	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	全額（データ）における「勘定日」を設定する。 全額（データ）の“YYMMDD”（和暦）形式を“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09		
67		<ValDt>	預入・払出日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
68		<Dt>	預入・払出日	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	全額（データ）における「預入・払出日」を設定する。 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09		
69		<BkTxCd>	取引区分情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
70		<Prtry>	取引区分詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全額（データ）における「取引区分」が未設定の場合、項番70<Prtry>から項番71<Cd>のタグを設定しない。		
71		<Cd>	取引区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	全額（データ）における「取引区分」を設定する。		
72		<Chrgs>	定期性口座繰越情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番72<Chrgs>から項番77<Amt Ccy="JPY">のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全額（データ）における「税区分」、「税率」、および「税額」が未設定の場合、項番72<Chrgs>から項番77<Amt Ccy="JPY">のタグを設定しない。		
73		<Amt Ccy="JPY">	定期性口座繰越情報合計	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	固定値“0”を設定する。		
74		<Tax>	税情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-			
75		<Id>	税区分	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「税区分」を設定する。		
76		<Rate>	税率	[0..1]	PercentageRate	decimal(11,10)	1	11	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「税率」を設定する。		
77		<Amt Ccy="JPY">	税額	[0..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「税額」を設定する。		
78		<Intrst>	定期性口座合計利息情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番78<Intrst>から項番87<Rsn>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。		
79		<Amt Ccy="JPY">	合計利息	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「合計利息」を設定する。 全額（データ）における「当初預入日」、「利率」、「満期日」のいずれかが設定され、「合計利息」を省略した場合は“0”を設定する。		

データ項目			ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容
								MIN	MAX			MIN	MAX	
80			<CdtDbtInd>	合計利息貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> “CREDIT”を設定する。
81			<Rate>	利率情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
82			<Tp>	利率詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
83			<Pctg>	利率	[1..1]	PercentageRate	decimal(11,10)	1	11	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「利率」を設定する。
84			<FrToDt>	預入日および満期日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番84<FrToDt>から項番86<ToDtTm>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> <全額（データ）の「当初預入日」および「満期日」に値が設定されている場合> 本タグを設定する。 <上記以外> 項番84<FrToDt>から項番86<ToDtTm>のタグを設定しない。
85			<FrDtTm>	当初預入日	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「当初預入日」を設定する。 全額（データ）では“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は “00:00:00”として設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例：2017-03-06T00:00:00
86			<ToDtTm>	満期日	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「満期日」を設定する。 全額（データ）では“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は “00:00:00”として設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例：2017-03-06T00:00:00
87			<Ran>	当初預入日または満期日	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> <全額（データ）の「当初預入日」のみ設定されている場合> 以下を設定する。 「FromDate:」&「全額（データ）における「当初預入日」」 ・例：FromDate:2017-03-09 <全額（データ）の「満期日」のみ設定されている場合> 以下を設定する。 「ToDate:」&「全額（データ）における「満期日」」 ・例：ToDate:2017-03-09 全額（データ）の“YYMMDD”（和暦）形式を“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09
88			<CtryDtls>	取引明細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
89			<TdDtls>	取引明細詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
90			<Refs>	取引明細識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」および「照会識別情報」が未設定となる場合、項番90<Refs> から項番94<Ref>のタグを設定しない。
91			<EndToEndId>	取引明細識別番号（振込依頼人発行）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で「金融EDI情報」および「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」を設定する。

データ項目				ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容	
								MIN	MAX			MIN	MAX		
92			<Prtry>	照会識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「照会番号」が未設定の場合、項番92<Prtry>から項番94<Ref>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「識別番号」が未設定の場合、項番92<Prtry>から項番94<Ref>のタグを設定しない。	
93			<Tp>	照会識別情報種別	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	固定値 "Reference/Identification Number" を設定する。	
94			<Ref>	照会番号または識別番号	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「照会番号」を設定する。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「識別番号」を設定する。	
95			<BkTxCd>	取引明細種別	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
96			<Dom>	取引明細種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
97			<Cd>	取引明細種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTransactionDomainCode	string	1	4	-	-	-	-	固定値 "PMNT" を設定する。	
98			<Fmly>	取引明細種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		
99			<Cd>	取引明細種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionFamilyCode	string	1	4	-	-	-	-	固定値 "RCDT" を設定する。	
100			<SubFmlyCd>	取引明細種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionSubFamilyCode	string	1	4	-	-	-	-	固定値 "DMCT" を設定する。	
101			<Intrst>	定期性口座期間利息情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番101<Intrst>から項番109<Rsn>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全銀（データ）における「期間利息」、「期間利息正負表示」、「中間払区分」、「中間払利率」、「期間（1）」、および「期間（2）」が未設定となる場合、項番101<Intrst>から項番109<Rsn>のタグを設定しない。	
102			<Amt Ccy="JPY">	期間利息	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「期間利息」を設定する。 全銀（データ）における「期間（1）」、「中間払利率」、「中間払区分」、「期間（2）」、「期間利息正負表示」のいずれかが設定され、「期間利息」を省略した場合は "0" を設定する。	
103			<CdtDbtInd>	期間利息貸借区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「期間利息正負表示」を設定する。 <プラスの場合> "CRDT" を設定する。 <マイナスの場合> "DBIT" を設定する。 全銀（データ）における「期間（1）」、「期間利息」、「中間払利率」、「中間払区分」、「期間（2）」のいずれかが設定され、「期間利息正負表示」を省略した場合は "CRDT" を設定する。	
104			<Tp>	中間払区分情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「中間払区分」が未設定の場合、項番104<Tp>から項番105<Prtry>のタグを設定しない。	
105			<Prtry>	中間払区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 1桁目に固定値 "1"、 2桁目に全銀（データ）における「中間払区分」を設定する。	
106			<Rate>	中間払利率情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「中間払利率」が未設定の場合、項番106<Rate>から項番108<Pctg>のタグを設定しない。	
107			<Tp>	中間払利率詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-		

データ項目				ISO20022定義										本システムにおける定義			
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type 土はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 土はタグのみ	桁数		設定内容			
108			<Pctg>	中間払利率	[1..1]	PercentageRate	decimal(11,10)	1	11	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「中間払利率」を設定する。			
109			<Rsn>	期間（1）または期間（2）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> <全額（データ）における「期間（1）」がすべて“0”の場合> 全額（データ）における「期間（2）」を設定する。 <上記以外の場合> 全額（データ）における「期間（1）」を設定する。			
110			<Intrst>	定期性口座期後利息情報	[0..n]	土	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番110<Intrst>から項番118<Rsn>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全額（データ）における「期後利息」、「期後利率」、および「期後期間」が未設定となる場合、項番110<Intrst>から項番118<Rsn>のタグを設定しない。			
111			<Amt Coy="JPY">	期後利息	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「期後利息」を設定する。 全額（データ）における「期間（1）」、「期後期間」、「期後利率」のいずれかが設定され、「期後利息」を省略した場合は“0”を設定する。			
112			<CdtDbtInd>	期後利息貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> “CREDIT”を設定する。			
113			<Tp>	期後払区分情報	[0..1]	土	-	-	-	-	-	-	-				
114			<Prtry>	期後払区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> “20”を設定する。			
115			<Rate>	期後利率情報	[0..n]	土	-	-	-	-	-	-	-	全額（データ）における「期後利率」が未設定の場合、項番115<Rate>から項番117<Pctg>のタグを設定しない。			
116			<Tp>	期後利率詳細情報	[1..1]	土	-	-	-	-	-	-	-				
117			<Pctg>	期後利率	[1..1]	PercentageRate	decimal(11,10)	1	11	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「期後利率」を設定する。			
118			<Rsn>	期後期間	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「期後期間」を設定する。			
119			<Intrst>	定期性口座税引後利息情報	[0..n]	土	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番119<Intrst>から項番123<Prtry>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全額（データ）における「税引後利息」が未設定となる場合、項番119<Intrst>から項番123<Prtry>のタグを設定しない。			
120			<Amt Coy="JPY">	税引後利息	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全額（データ）における「税引後利息」を設定する。			

データ項目				ISO20022定義										本システムにおける定義			
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type 主はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 主はタグのみ	桁数		設定内容			
121				<CdtDbtInd>		税引後利息貸越区分	[1..1] CreditDebitCode	string	4 4	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> "CREDIT"を設定する。			
122				<Tp>		税引後払区分情報	[0..1] 土	-	-	-	-	-	-				
123				<Prtry>		税引後払区分	[1..1] Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> "30"を設定する。			
124				<RltdPties>		振込依頼人情報	[0..1] 土	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、「振込依頼人名または契約者番号」、「振込依頼人組織識別詳細情報」、および「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）情報」が未設定となる場合、項番124<RltdPties>から項番136<Cd>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番124<RltdPties>から項番136<Cd>のタグを設定しない。			
125				<Dptr>		振込依頼人詳細情報	[0..1] 土	-	-	-	-	-	-				
126				<Nm>		振込依頼人名または契約者番号	[0..1] Max140Text	string	1 140	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全組（データ）における「振込依頼人名または契約者番号」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。			
127				<Id>		振込依頼人識別情報	[0..1] 土	-	-	-	-	-	-				
128				<OrgId>		振込依頼人組織識別情報	[1..1] 土	-	-	-	-	-	-				
129				<Othr>		振込依頼人組織識別詳細情報	[0..n] 土	-	-	-	-	-	-	全組（データ）における「振込依頼人コード」が未設定の場合、項番129<Othr>から項番132<Cd>のタグを設定しない。			
130				<Id>		振込依頼人コード	[1..1] Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全組（データ）における「振込依頼人コード」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。			
131				<SchmeNm>		振込依頼人概要情報	[0..1] 土	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 <定期性口座の場合> 項番131<SchmeNm>から項番132<Cd>のタグを設定しない。			
132				<Cd>		振込依頼人概要コード	[1..1] ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1 4	-	-	-	-	固定値 "BANK" を設定する。			
133				<Othr>		振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）情報	[0..n] 土	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で「金融E D I 情報」と「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）」のいずれかが設定されてない場合、項番133<Othr>から項番136<Cd>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番133<Othr>から項番136<Cd>のタグを設定しない。			
134				<Id>		振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）	[1..1] Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で「金融E D I 情報」および「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細受信IF(FD_KG_R02)」で連携された「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。			
135				<SchmeNm>		振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）概要情報	[0..1] 土	-	-	-	-	-	-				
136				<Cd>		振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）概要コード	[1..1] ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1 4	-	-	-	-	<普通口座の場合> "TXID"を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。			
137				<RltdAgts>		金融機関情報	[0..1] 土	-	-	-	-	-	-	「仕向金融機関情報」および「仮店番号情報」が未設定となる場合、項番137<RltdAgts>から項番146<Id>のタグを設定しない。			

データ項目				ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容			
138				<DbtrAgt>	仕向金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、「仕向金融機関詳細情報」および「仕向支店情報」が未設定となる場合、項番138<DbtrAgt>から項番142<Nm>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番138<DbtrAgt>から項番142<Nm>のタグを設定しない。			
139				<FinInstnId>	仕向金融機関詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-				
140				<Nm>	仕向銀行名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	<普通口座の場合> 全額（データ）における「仕向銀行名」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。			
141				<BrnchId>	仕向支店情報	[0..1]	±	-	-	-	-	全額（データ）における「仕向店名」が未設定の場合、項番141<BrnchId>から項番142<Nm>のタグを設定しない。			
142				<Nm>	仕向支店名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	<普通口座の場合> 全額（データ）における「仕向店名」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。			
143				<CdtrAgt>	仮店番号情報	[0..1]	±	-	-	-	-	全額（データ）における「仮店番号」が未設定の場合、項番143<CdtrAgt>から項番146<Id>のタグを設定しない。			
144				<FinInstnId>	仮店番号識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-				
145				<BrnchId>	仮店番号詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-				
146				<Id>	仮店番号	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	全額（データ）における「仮店番号」を設定する。			
147				<RltdRatInf>	商流識別情報	[0..10]	±	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全額（データ）における「E D I 情報」が未設定の場合、項番147<RltdRatInf>から項番148<RatId>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番147<RltdRatInf>から項番148<RatId>のタグを設定しない。			
148				<RatId>	E D I 情報	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	<普通口座の場合> 全額（データ）における「E D I 情報」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。			
149				<RatInf>	商流情報	[0..1]	±	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、該当する金融E D I 情報が本システムに存在しない場合、項番149<RatInf>から項番150<Ustrd>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番149<RatInf>から項番150<Ustrd>のタグを設定しない。			
150				<Ustrd>	金融E D I 情報	[0..n]	Max140Text	string	1	140	-	<普通口座の場合> 本システムから取得した「金融E D I 情報」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。			
151				<CtryDtls>	手形・小切手情報	[0..n]	±	-	-	-	-				
152				<Ctdtls>	手形・小切手取引情報	[0..n]	±	-	-	-	-				
153				<Refs>	手形・小切手取引詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-	全額（データ）における「手形・小切手番号」が未設定の場合、項番153<Refs>から項番157<Ref>のタグを設定しない。			
154				<ChqNb>	手形・小切手番号	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	全額（データ）における「手形・小切手番号」を設定する。			
155				<Prtry>	手形・小切手区分情報	[0..1]	±	-	-	-	-	全額（データ）における「手形・小切手区分」が未設定の場合、項番155<Prtry>から項番157<Ref>のタグを設定しない。			
156				<Tp>	手形・小切手区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	全額（データ）における「手形・小切手区分」を設定する。			
157				<Ref>	手形・小切手区分詳細	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	固定値 "0" を設定する。			
158				<AmtDtls>	うち他店券金額合計情報	[0..1]	±	-	-	-	-				
159				<Amt>	うち他店券金額情報	[0..1]	±	-	-	-	-				
160				<Amt Ccy="JPY">	うち他店券金額	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	全額（データ）における「うち他店券金額」を設定する。			

データ項目				ISO20022定義						本システムにおける定義					
項番	XMLタグ			論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容	
								MIN	MAX			MIN	MAX		
161				<BkTxCd>	手形・小切手情報種別	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
162				<Down>	手形・小切手情報種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
163				<Cd>	手形・小切手情報種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTransactionDomain1Code	string	1	4	-	-	-	固定値 "PMNT" を設定する。	
164				<Fmly>	手形・小切手情報種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
165				<Cd>	手形・小切手情報種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionFamily1Code	string	1	4	-	-	-	固定値 "RCHQ" を設定する。	
166				<SubFmlyCd>	手形・小切手情報種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionSubFamily1Code	string	1	4	-	-	-	固定値 "CCHQ" を設定する。	
167				<RltdDts>	交換显示日および不渡返還日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	「交換显示日」および「日付識別情報」が未設定となる場合、項番167<RltdDts>から項番172<Dt>のタグを設定しない。	
168				<AcceptncDtTm>	交換显示日	[0..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	全組（データ）における「交換显示日」を設定する。 全組（データ）は "YYMMDD"（和暦）形式のため、"YYYY-MM-DD" 形式に変換後、時刻は "00:00:00" として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00	
169				<Prtry>	日付識別情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	全組（データ）における「不渡返還日」が未設定の場合、項番169<Prtry>から項番172<Dt>のタグを設定しない。	
170				<Tp>	日付種別	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	固定値 "Dishonored Return Date" を設定する。	
171				<Dt>	不渡返還日情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
172				<Dt>	不渡返還日	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	全組（データ）における「不渡返還日」を設定する。 全組（データ）の "YYMMDD"（和暦）形式を "YYYY-MM-DD" 形式に変換して設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DD" ・例: 2017-03-09	
173				<AddtlNtryInf>	摘要内容および仕向金融機関指示情報	[0..1]	Max500Text	string	1	500	-	-	-	以下を設定する。 「全組（データ）における「摘要内容」」 & 「 ":"（半角コロン）」 & 「全組（データ）における「ダミー」」 ・例: 7207010820	
174				<AddtlRptInf>	金融機関指示情報	[0..1]	Max500Text	string	1	500	-	-	-	以下を設定する。 「全組（ヘッダー）における「ダミー」（前）」 & 「 ":"（半角コロン）」 & 「全組（ヘッダー）における「ダミー」（後）」 ・例: 000:dummy1234567890dummy1234567890dummy1234567890dummy1234567890dummy123456	